

かんたん操作 マニュアル



お使いになる前に

本機のはたらき、原稿や用紙のセット方法などについて



コピー

コピー機能の使いかた



プリンター

プリンター機能の使いかた



ファクス

ファクス機能の使いかた



スキャナー

スキャナー機能の使いかた



ドキュメントファイリング

データをストレージに保存して利用する機能について



オフライン仕上げ

オフライン仕上げ機能の使いかた



設定モード

本機をより使いやすくするための設定について

取扱説明書の種類と見かた

スタートガイド



本機の基本的な使用方法や、本機を安全にお使いいただくための注意事項・管理者用の情報などを記載しています。はじめて本機を使用するときにお読みください。
詳細な使用方法やトラブル時の対処方法については、PDF形式のマニュアルを参照してください。

操作ガイド（タッチパネルで表示）



本機のタッチパネルの  アイコンをタップすると表示されます。本機の基本的な操作方法を中心に説明しています。また、マニュアルをプリントすることができます。[\(3ページ\)](#) マニュアルのプリント方法については、「[マニュアルのプリント方法 \(4ページ\)](#)」を参照してください。

ユーザーズマニュアル

本機で利用できる機能についての詳細な説明は、取扱説明書「ユーザーズマニュアル」で記載しています。
本機からコンピューターにダウンロードして見ることができます。
本機のWebページからユーザーズマニュアルをダウンロードします。
ダウンロードの方法については、「[取扱説明書をダウンロードして表示する \(6ページ\)](#)」を参照してください。



※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

その他のマニュアル

「ユーザズマニュアル」同様、Webページからお使いのコンピューターにダウンロードして見るができます。

マニュアルの種類は更新される場合があります。詳しくはWebページをご確認ください。

AirPrintガイド

AirPrintの使用方法について記載しています。



ユーザズマニュアル (アドレス帳登録編) ※

アドレス帳の登録や編集、削除について記載しています。



ソフトウェアセットアップ ガイド※

本機をプリンターやスキャナーとして使用するために必要なソフトウェアのインストール方法および設定方法について記載しています。



Q & A集 (困ったときは) ※

本機の操作に関してよくあるご質問についての対処法を機能別に解説しています。



かんたん操作マニュアル※

本機の基本的な使用方法や便利な機能を簡潔に記載しています。



ユーザズマニュアル (Webページ設定編) ※

本機に内蔵されているWebページ設定機能を用いて、コンピューターからの操作で複合機の設定を行う方法について記載しています。



ユーザズマニュアル (タッチパネル操作編)

タッチパネルの操作やユーザーインターフェースのカスタマイズ方法について記載しています。



プリントリリースガイド

プリントリリース機能の使用方法について記載しています。同一ネットワーク上にプリントリリース対応機が複数ある場合、プリントデータを複合機に保存しておけば、どの複合機からでもアクセスしてプリントできます。



クラウド連携ガイド

インターネット上のクラウドサービスと複合機を接続して、スキャンデータのアップロードや、クラウド内データのプリントを行う方法について記載しています。



※操作ガイドからプリントできます。

マニュアルのプリント方法

1



[ホーム画面]キーを押す

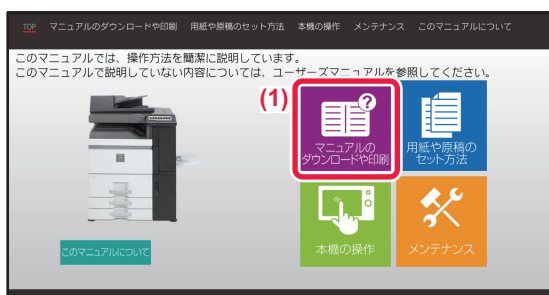
ホーム画面が表示されます。

2



[操作ガイド]キーをタップする

3



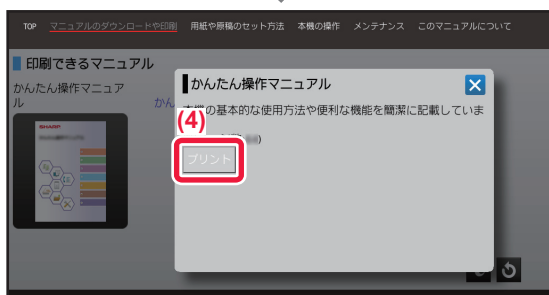
タッチパネルで設定する

(1) [マニュアルのダウンロードや印刷] キーを
タップする



(2) [印刷できるマニュアル]キーをタップする

(3) マニュアルアイコンをタップする



(4) [プリント]をタップする

プリント設定画面が表示されます。設定を行い、[スタート]キーをタップすると、プリントを開始します。タッチパネルの表示言語で[取扱説明書をダウンロードして表示する \(6ページ\)](#)の手順2で表示される言語以外を選択し、[操作ガイド]をタップすると英語が表示されます。タッチパネルの表示言語の切り替えは、ユーザーズマニュアルを参照してください。

本機のWebサーバーへのアクセス方法

本機がネットワークに接続されているときは、コンピューターのWebブラウザから本機の内蔵Webサーバーにアクセスできます。

Webページを表示する

1

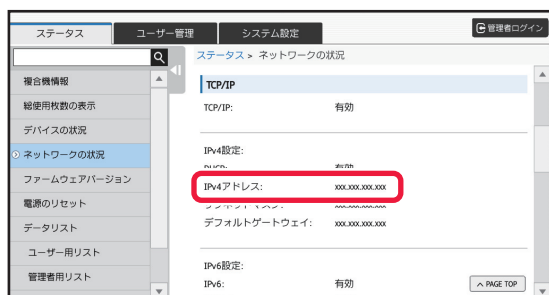


【設定】 キーをタップする

2

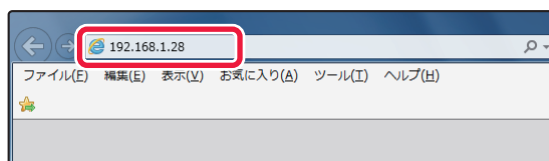
メニューから【ステータス】 → 【ネットワークの状況】 をタップする

3



画面を下へスクロールし、【TCP/IP】の【IPv4設定】にある【IPv4アドレス】を確認する

4



本機に内蔵のWebサーバーにアクセスしてWebページを表示する

本機と同じネットワーク上のコンピューターのWebブラウザを起動して、本機のIPアドレスを入力する

対応Web ブラウザー

Internet Explorer：11以上（Windows®）
Microsoft Edge（Windows®）、
Firefox（Windows®）、Safari（Mac OS®）、
Chrome（Windows®）：
最新版とその1つ前のメジャーリリース

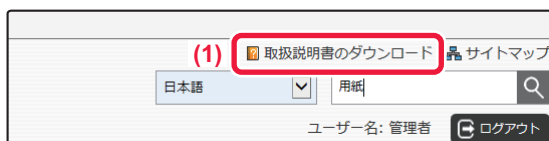
Webページが表示されます。

本機の設定によっては、ユーザー認証を受けないとWebページが表示されない場合があります。認証を受けるときに必要なパスワードなどの情報については本機の管理者にご確認ください。

取扱説明書をダウンロードして表示する

Webページから本機のより詳細な取扱説明書をダウンロードします。

1



本機のWebページを表示し、メニューの[取扱説明書のダウンロード]をクリックする

2



ダウンロードしたい言語を選択する
表示される言語のみ対応しています。

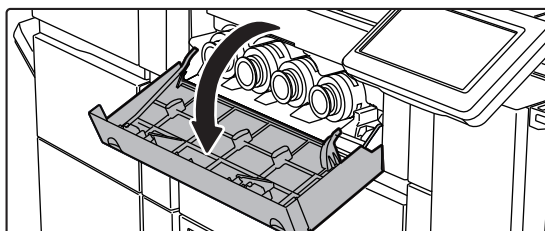
3



ダウンロードするマニュアルを選択し、
[ダウンロード]ボタンをクリックする

トナー交換について

トナー交換をお知らせするメッセージが表示されたときは、印刷中でもトナーを交換することができます。トナーを交換するときは、必ずトナーカバーを開けてください。



間違えて下側のカバーを開けると、印刷が停止して紙づまりの原因となります。

もくじ

取扱説明書の種類と見かた.....	2
マニュアルのプリント方法.....	4
本機のWebサーバーへのアクセス方法.....	5

お使いになる前に

各部の名称とはたらき.....	10
電源の入／切.....	13
操作パネルについて.....	14
原稿のセットのしかた.....	16
音量を調整する.....	17
用紙補給について.....	18
アドレス帳を登録する.....	28
ユーザー認証について.....	29
本機で利用できるさまざまな機能.....	30

コピー

コピーのしかた.....	34
コピーモードについて.....	36
特殊な用紙にコピーする（手差しコピー）.....	37

プリンター

Windows環境からプリントする.....	40
macOS環境からプリントする.....	42
USBメモリー内のファイルを直接プリントする.....	44

ファクス

ファクス送信のしかた.....	46
ファクスモードについて.....	48

スキャナー

本機のネットワークスキャナー機能について	50
イメージ送信のしかた	51
スキャナーモードについて	53

ドキュメントファイリング

ドキュメントファイリング機能でできること	56
原稿データの保存だけを行う（スキャン保存）	57
保存したファイルをプリントする	60

オフライン仕上げ

オフライン仕上げ機能について	62
オフライン仕上げのしかた	62

設定モード

設定モードについて	66
-----------------	----



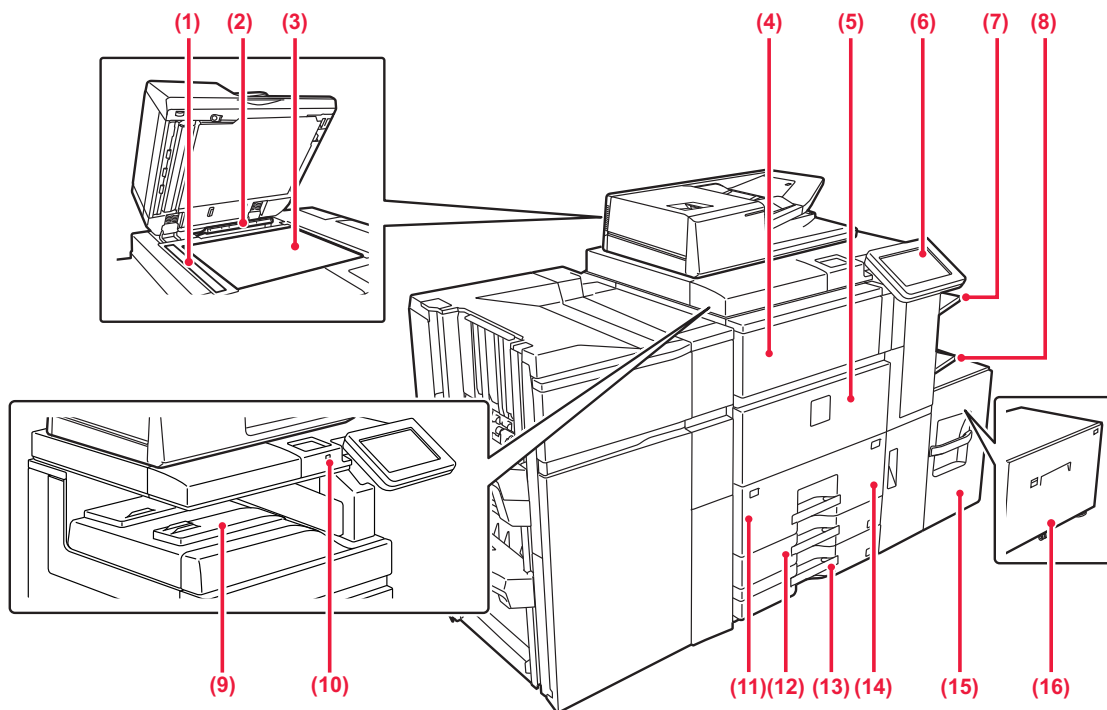
お使いになる前に

本機とその周辺装置のなまえやはたらき、原稿のセット方法や用紙の補給方法など、全般に共通することがらについて説明しています。

▶ 各部の名称とはたらき	10
▶ 電源の入／切	13
▶ 操作パネルについて	14
▶ 原稿のセットのしかた	16
▶ 音量を調整する	17
▶ 用紙補給について	18
▶ アドレス帳を登録する	28
▶ ユーザー認証について	29
▶ 本機で利用できるさまざまな機能	30



各部の名称とはたらき



(1) 原稿読み取り部

原稿自動送り装置にセットした原稿は、ここで読み取られます。

▶ [原稿自動送り装置を使うとき \(16ページ\)](#)

(2) 原稿サイズ検知板

原稿台（ガラス面）にセットした原稿のサイズを検知する装置です。

▶ [原稿台（ガラス面）を使うとき \(16ページ\)](#)

(3) 原稿台（ガラス面）

厚手の原稿やブック物などの原稿で、原稿自動送り装置を使うことのできない原稿をセットするときに使います。

▶ [原稿台（ガラス面）を使うとき \(16ページ\)](#)

(4) トナーカバー（上部前面カバー）

トナーカートリッジを交換するときや、中継ユニットの紙づまり処理などの場合に開きます。

▶ [トナー交換について \(6ページ\)](#)

(5) 前カバー

主電源スイッチを入／切するときや、トナーカートリッジを交換するときなどに開きます。

▶ [電源の入／切 \(13ページ\)](#)

(6) 操作パネル

「電源」ボタンや、「節電」ボタン／ランプ、エラーランプ、「ホーム画面」キー、主電源ランプ、ファクス受信／データランプ、タッチパネルがあります。

タッチパネルで各機能を実行します。

▶ [操作パネルについて \(14ページ\)](#)

(7) 右トレイ

必要に応じて、右トレイに用紙を排紙することができます。ファクスなどの受信原稿を右トレイに排紙すると、他のプリントされた用紙と仕分けることができます。

(8) 手差しトレイ

手差しで給紙するとき、ここから用紙を挿入します。A4Rまたは8-1/2"x11"Rよりも大きい用紙をセットするときは補助ガイドを引き出します。

▶ [その他のトレイに用紙を補給する \(21ページ\)](#)

(9) 排紙トレイ（センタートレイ）

受信したファクスの用紙が排紙されます。また、プリントされた用紙が排紙されます。

(10) USBコネクタ（Aタイプ）

本機にUSBメモリーなどのUSB機器を接続します。USB2.0（Hi-Speed）対応です。

(11) トレイ1

用紙を収納します。最大 1,300 枚の用紙が入ります。

▶ [トレイ1/2への用紙補給 \(19ページ\)](#)

(12) トレイ3

用紙を収納します。最大 550 枚の用紙が入ります。

▶ [トレイ3/4への用紙補給 \(20ページ\)](#)

(13) トレイ4

用紙を収納します。最大 550 枚の用紙が入ります。

▶ [トレイ3/4への用紙補給 \(20ページ\)](#)

(14) トレイ2

用紙を収納します。最大 900 枚の用紙が入ります。

▶ [トレイ1/2への用紙補給 \(19ページ\)](#)

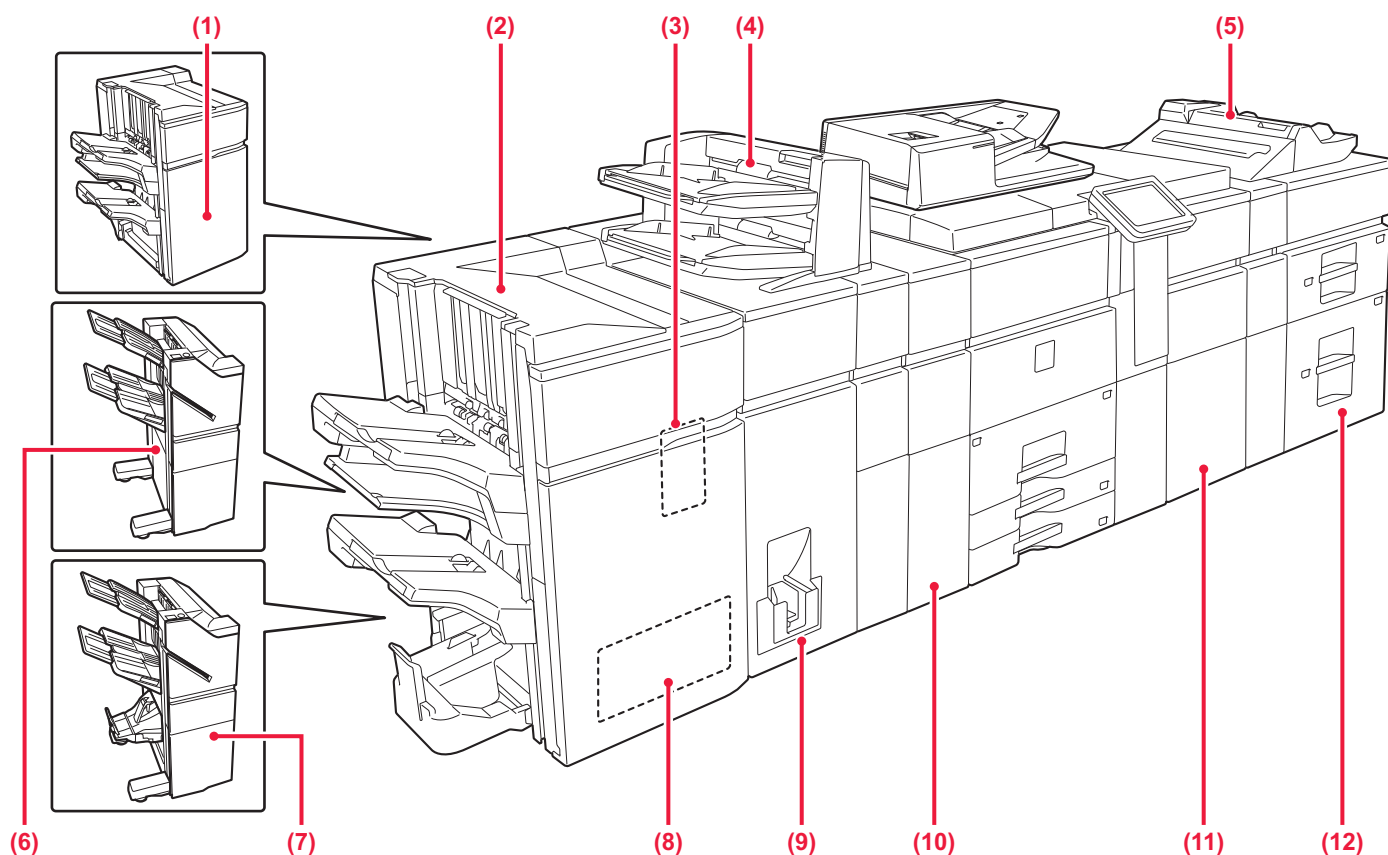
(15) トレイ5（MX-LC12）※

用紙を収納します。最大 4,000 枚の用紙が入ります。

(16) トレイ5（MX-LCX3 N）※

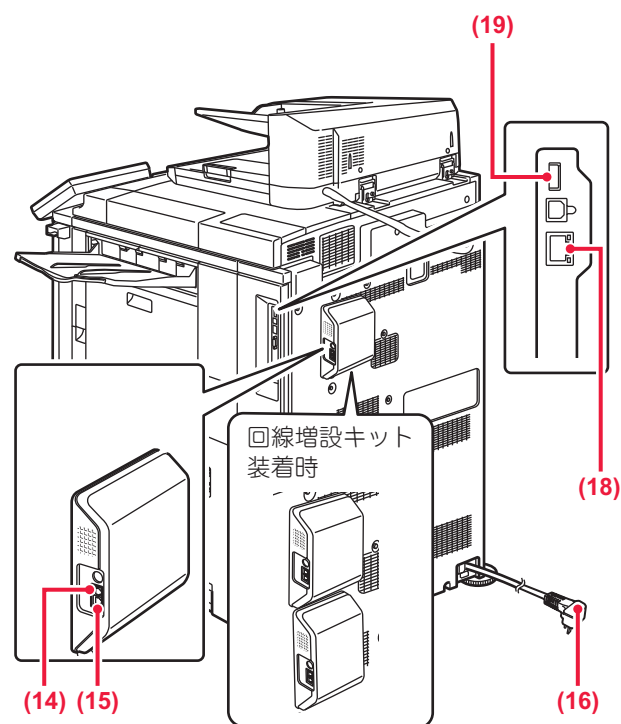
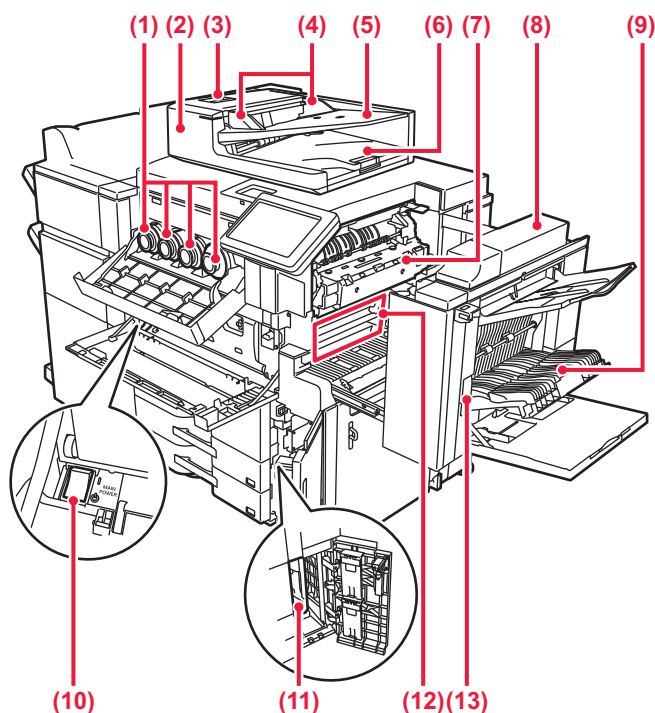
用紙を収納します。最大 3,500 枚の用紙が入ります。

※周辺装置です。詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。



- (1) **フィニッシャー（大容量）※**
用紙へのステープルをします。パンチユニットを装着するとパンチ穴をあけられます。
- (2) **サドルフィニッシャー（大容量）※**
用紙へのステープル、紙折りをします。パンチユニットを装着するとパンチ穴をあけられます。
- (3) **パンチユニット※**
パンチ穴を開けて排紙できます。
- (4) **インサーター※**
プリントされた用紙に挿入する、表紙や合い紙をセットすることができます。
また、オフライン仕上げ機能で、直接フィニッシャー（大容量）やサドルフィニッシャー（大容量）に用紙を送り、ステープル、パンチ、紙折りをすることができます。
- (5) **手差しトレイ※**
手差しで給紙するときに、ここから用紙を挿入します。
A4Rまたは8-1/2"x11"Rよりも大きい用紙をセットするときは補助ガイドを引き出します。
▶ [そのほかのトレイに用紙を補給する（21ページ）](#)
- (6) **フィニッシャー※**
用紙へのステープルをします。パンチユニットを装着するとパンチ穴をあけられます。
また、手動でステープルを行うことができます。
- (7) **サドルフィニッシャー※**
用紙へのステープル、紙折りをします。パンチユニットを装着するとパンチ穴をあけられます。
また、手動でステープルを行うことができます。
- (8) **トリマーユニット※**
中とじステープルしたときにはみ出た部分を裁断できます。
- (9) **紙折りユニット※**
用紙を折りたたみ排紙します。
- (10) **カール補正ユニット※**
印刷された用紙のカールを適切に補正します。
- (11) **搬送ユニット※**
本体に用紙を送ります。
- (12) **大容量2段給紙トレイ※**
用紙を収納します。それぞれのトレイに最大 2,750 枚の用紙が入ります。
[そのほかのトレイに用紙を補給する（21ページ）](#)

※周辺装置です。詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。



(1) トナーカートリッジ

トナーが入っている容器です。
トナーがなくなった場合、新しいカートリッジと交換します。

(2) 原稿自動送り装置

セットした原稿を自動で送り出して、連続して読み込みます。原稿の裏と表を同時に読み込むことができます。

▶ [原稿自動送り装置を使うとき \(16ページ\)](#)

(3) 原稿給紙部カバー

原稿の紙づまりの処置のときに開きます。
原稿給紙ローラーを清掃するときに開きます。

(4) 原稿ガイド

原稿を正しく読み取るためのガイドです。
セットした原稿サイズの幅に合わせます。

(5) 原稿セット台

原稿をセットします。
上向きに原稿をセットします。

▶ [原稿自動送り装置を使うとき \(16ページ\)](#)

(6) 原稿出紙部

読み取りを終了した原稿が出てきます。

(7) 定着部

用紙上に転写した画像を熱により定着するところです。

(8) 右側面カバー

用紙がつまったときに開きます。

(9) 用紙反転部カバー

両面プリントのときに用紙の反転に使用します。紙づまりしたときに開きます。

(10) 主電源スイッチ

本機の電源を入れるときに使用します。
ファクスやインターネットFaxを使用するときは常に“**I**”の位置にします。

(11) トナー回収容器

プリントしたときに、余分になったトナーを収納するボックスです。

(12) 転写ベルト

転写ベルトは、フルカラープリントのとき、4色それぞれの感光体上のトナーイメージを転写ベルト上で重ねるはたらきをします。

白黒プリントのときは、黒色のみのトナーイメージを転写ベルト上に写します。

(13) 右側面カバー開閉レバー

紙づまりの処理をするとき、このレバーを引き上げながら、右側面カバーを開きます。

(14) 外部電話機接続端子 (TEL)

本機でファクス機能を使用するときに、外部電話機を接続します。

(15) 回線端子 (LINE)

本機でファクス機能を使用するときに、電話線に接続して使用します。

(16) 電源プラグ

(17) LANコネクタ

本機をネットワークで使用するときに、LANケーブルを接続します。

LANケーブルは、シールドタイプを使用します。

(18) USBコネクタ (Aタイプ)

本機にUSBメモリーなどのUSB機器を接続します。
USB2.0 (Hi-Speed) 対応です。

※周辺装置です。詳細は、ユーザズマニュアルを参照してください。



電源の入／切

本機の電源の入／切と再起動のしかたを説明します。

前カバーを開けた左下にある主電源スイッチと、操作パネルにある[電源]ボタンの、2つの電源スイッチで操作します。

電源を入れる

- 主電源スイッチを" | "の位置にします。
- 主電源ランプが緑色に点灯しているときは、[電源]ボタンを押します。

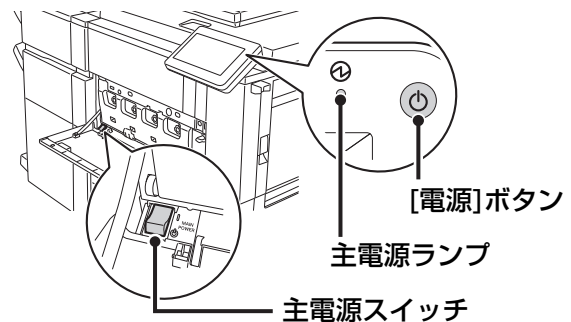
電源を切る

[電源]ボタンを押して電源を切ります。

長時間電源を切るときは、[電源]ボタンを押して電源を切り、操作パネルの画面表示が消えてから主電源スイッチを" 〰 "の位置にします。

再起動する

[電源]ボタンを押して電源を切ったあと、もう一度押して電源を入れます。



- 主電源スイッチを切るときは、必ず操作パネルの[電源]ボタンを押して、主電源スイッチを" 〰 "の位置にします。停電などで、突然主電源が切れた場合は、本機の電源を入れ直し、正しい順序で電源を切ります。主電源を[電源]ボタンより先に切った状態で本機を長時間放置すると、異音や画質低下や故障の原因となります。
- 故障のおそれのあるときや、近くに強い雷が発生したとき、本機を移動するときなどは[電源]ボタン、主電源スイッチの両方を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

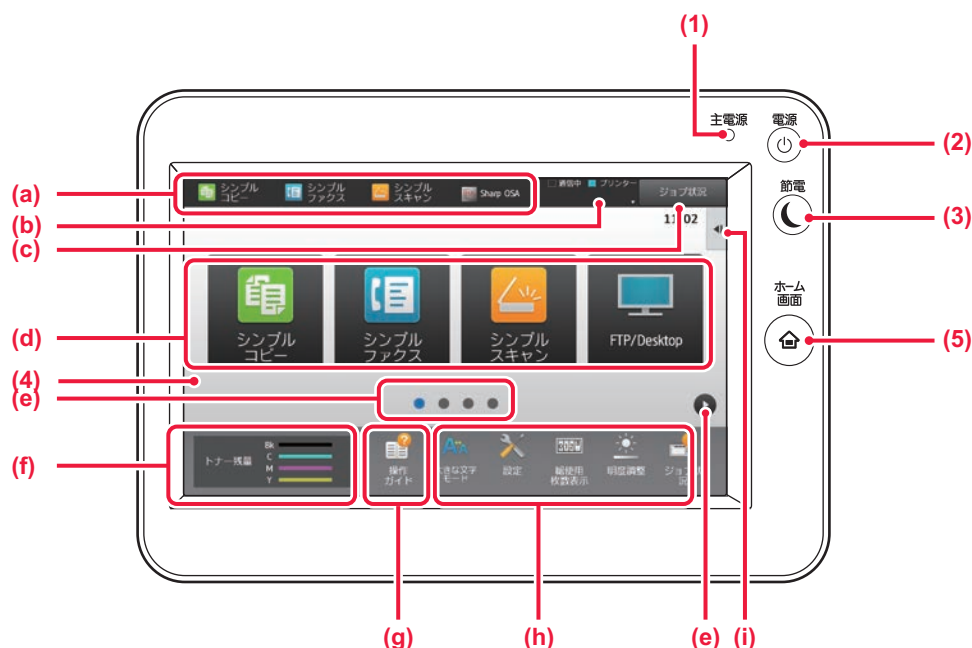


- ファクスやインターネットFax機能を使用するときは、主電源スイッチを常に" | "の位置にしてください。
- 本機では、設定した内容を有効にするために再起動が必要になる場合があります。本機の状態によっては、[電源]ボタンによる再起動では設定が有効にならない場合があります。この場合は主電源スイッチを入れ直します。



操作パネルについて

操作パネルの[ホーム画面]キーを押すと、タッチパネルにホーム画面が表示されます。ホーム画面は、モードや機能を選択するキーが表示されます。



(1) 主電源ランプ

本機の主電源スイッチが“**I**”の位置のときに点灯します。点滅中は[電源]ボタンを押して電源を入れることはできません。

(2) [電源]ボタン

本機の電源を入れる、または切るときに使用します。

(3) [節電]ボタン／ランプ

本機を省電力機能のスリープモードに切り替えるときに使用します。
スリープモード時には[節電]ボタンが点滅します。

(4) タッチパネル

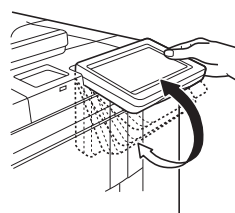
液晶画面にメッセージやキーを表示します。
表示されているキーを指で直接タップして操作します。
(a) タップしたモードに切り替えます。
(b) ジョブ以外の本機の状態をアイコンで表示します。
(c) 実行中または待機中のジョブを文字またはアイコンで表示します。
(d) モードや機能のショートカットキーを選びます。
(e) ショートカットキーの表示ページを切り替えます。
(f) トナー残量を表示します。
(g) 操作ガイドを表示します。
(h) 本機を使いやすくするための機能を選びます。
(i) 各モードで活用できる機能を選びます。タブにタップすると機能キーを一覧できます。

(5) [ホーム画面]キー

ホーム画面を表示します。

操作パネルの角度を変えるには

操作パネルは角度を変えることができます。
タッチパネルを見やすい角度に調整してください。





ジョブ状況の確認/優先/中止

ホーム画面の[ジョブ状況]キーをタップするか、各モード画面右上にある[ジョブ状況]キーをタップすると、ジョブ状況画面を表示します。



ジョブ状況を確認する

- (1) 確認したいモードのタブをタップする
コピージョブやコンピューターからのプリントジョブは「プリント」タブで確認します。
- (2) 「予約/実行中」キーまたは「完了」キーをタップする
- (3) ジョブを一覧から確認する
優先または削除したいジョブがある場合は、そのジョブをタップします。
- (4) 優先の場合：
「ジョブの優先度を変える」をタップして、優先度変更キーをタップします。

中止する場合：

「選択しているジョブを中止/削除する」をタップします。

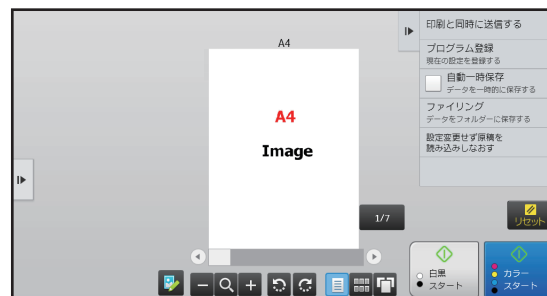
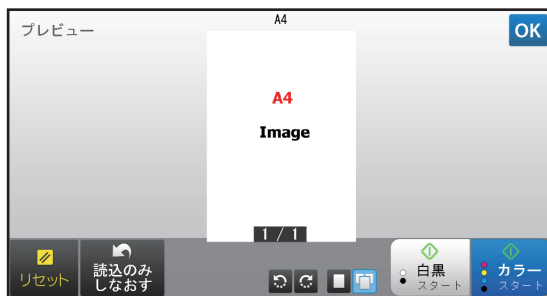
- (5) 「戻る」キーをタップして、元の画面に戻る

プレビュー画面

「プレビュー」キーをタップするとプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面では、仕上がリイメージや本機に保存されている画像イメージをタッチパネルで確認できます。

【シンプルモードの場合】

【ノーマルモードの場合】



プレビュー画面で使用するキー

	編集モードに切り替えます。原稿のページ入れ替えや回転、削除などができます。		※1	全ページのプレビュー画像を矢印の方向に回転します。印字結果は回転しません。
	※1、※2 画像を縮小します。		※1	1ページごとにプレビュー画像を表示します。
	※1、※2 拡大／縮小操作のスクロールバーを表示します。スライダーを左にスライドすると縮小、右にスライドすると拡大して表示します。			プレビュー画像をサムネイル表示します。
	※1、※2 画像を拡大します。		※1	ページを立体的に並べて表示します。

※1 シンプルモードでも使用できます。

※2 シンプルモードでは、をタップすると表示されます。



お使いになる前に

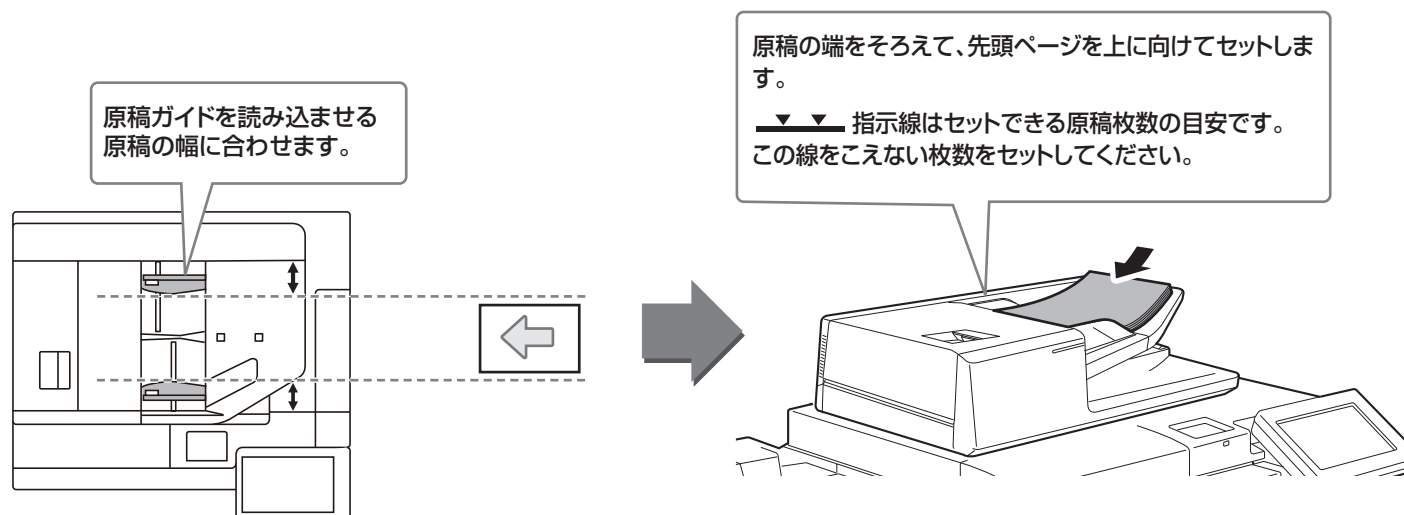
原稿のセットのしかた

原稿自動送り装置を使うとたくさんの原稿を自動的に読み込むことができ、原稿を1枚ずつセットする必要がありません。本のように厚みのあるものや付箋（ふせん）をつけた用紙など、原稿自動送り装置を使って読み込むことができない原稿は原稿台（ガラス面）にセットします。

原稿自動送り装置を使うとき

原稿自動送り装置を使うときは、原稿セット台に原稿をセットしてください。

原稿台（ガラス面）に原稿がセットされていないことを確認してください。



原稿台（ガラス面）を使うとき

原稿自動送り装置を閉じるときは、手をはさまないように注意してください。

原稿をセットしたあとは、原稿自動送り装置を必ず閉じてください。開いたままだと、原稿以外の部分が黒くコピーされてトナーの過剰消費につながります。



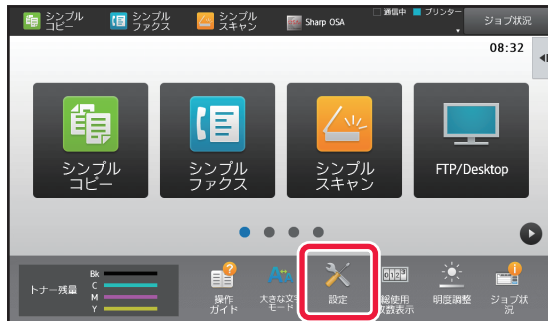
画像の向きを設定することで、セットした原稿の向きを正しく認識します。
詳細は、ユーザズマニュアルを参照してください。



音量を調整する

本機から出る音量を調整します。[設定]キーをタップし、[システム設定]タブから、以下の設定を行ってください。
(管理者権限が必要です。)

▶ [管理者ログインでの設定モードについて \(68ページ\)](#)



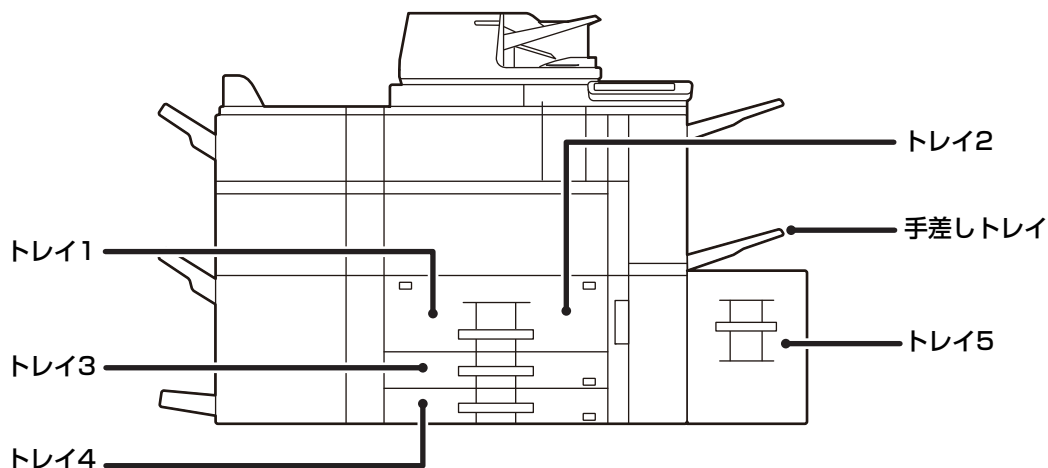
設定	設定内容
オーディオ設定→報知音設定(共通)→原稿読み込み終了音(イメージ送信)	ファクスやスキャンなどイメージ送信、ドキュメントファイリング機能で、原稿の読み込みが終了するときになる音の設定を行います。
オーディオ設定→報知音設定(イメージ送信)→ファクス	ファクスでオンフック(スピーカー)の音量、呼出音、回線モニター、受信終了音、送信終了音、送受信のエラー時の音の設定を行います。
オーディオ設定→報知音設定(イメージ送信)→インターネットFax	インターネットFaxで受信時、通信エラー時になる音の設定を行います。
オーディオ設定→報知音設定(共通)→キータッチ音	キーをタップした際になる音の設定や基準値でキータッチ音をならすかどうかの設定を行います。



用紙補給について

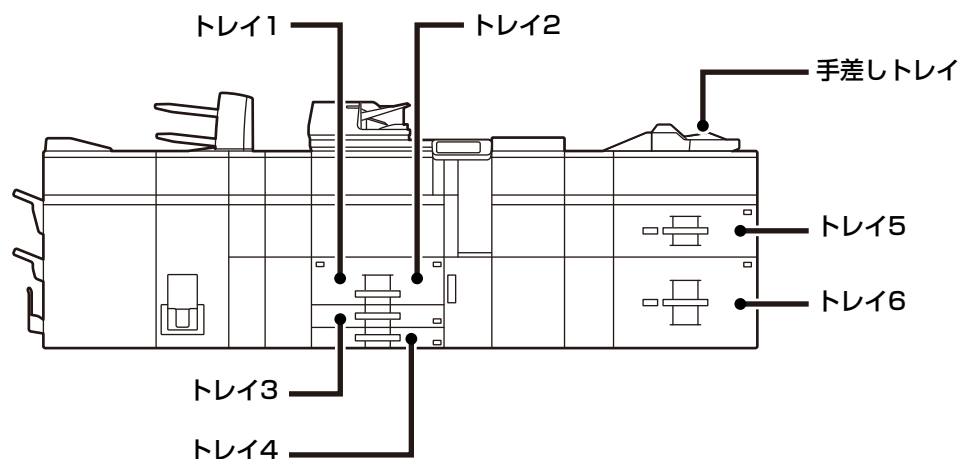
トレイの位置と名称

トレイのなまえは次のとおりです。



大容量2段給紙トレイ

セットするときのプリント面の向き



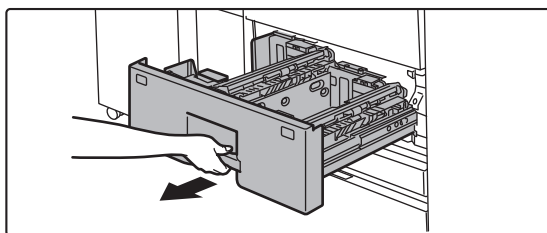
トレイによって、セットするプリント面の向きが異なります。「レターヘッド付き用紙」や「印刷済み用紙」は逆の向きにセットします。
プリントしたい面を以下の通りにセットします。

トレイ	通常時	レターヘッド付き用紙、印刷済み用紙セット時
トレイ1～4	上向き	下向き
手差しトレイ、トレイ5、トレイ6	下向き	上向き



トレイ1/2への用紙補給

1



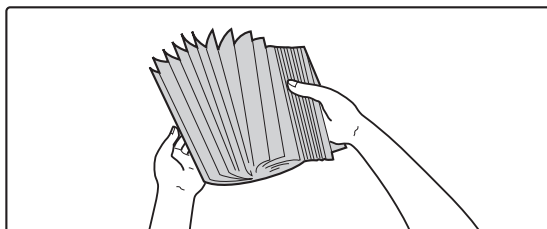
トレイを引き出す

トレイを止まるまで静かに引き出します。



取っ手はロックが解除されるまで握り締めてください。

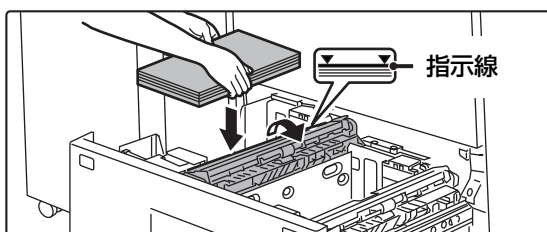
2



用紙をさばく

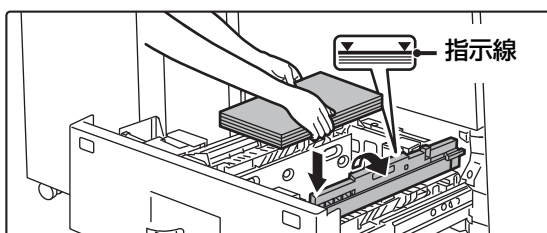
用紙はセットする前によくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。

3

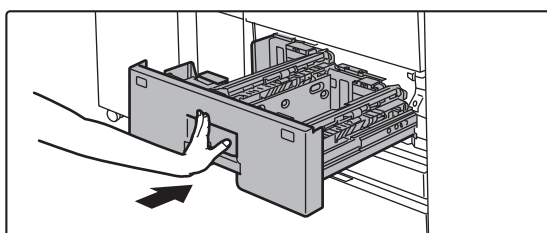


給紙ローラー部を持ち上げて、トレイに用紙を入れる

用紙はプリントしたい面を上向きにして、指示線をこえない枚数（トレイ1：最大 1,300 枚／トレイ2：最大 900 枚）をセットします。



4



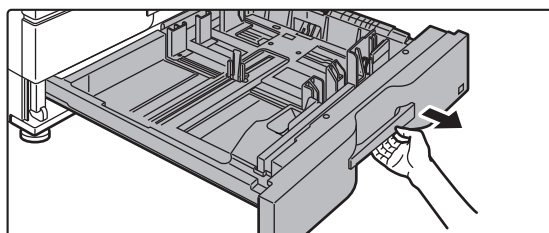
給紙ローラー部を下げて、トレイを静かに押し込む

奥までゆっくと確実に押し込みます。勢いよく強く押し込むと、用紙が斜め送りになり、紙づまりの原因になります。



トレイ3/4への用紙補給

1



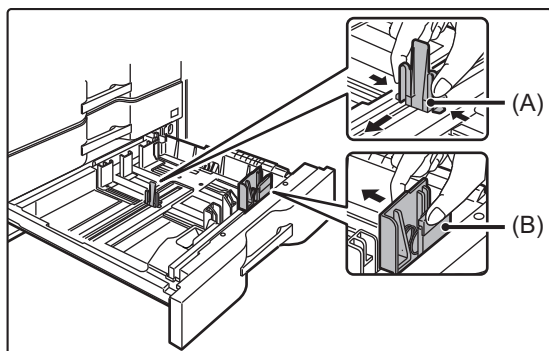
トレイを引き出す

トレイを止まるまで静かに引き出します。
そのまま用紙を補給する場合は、手順3へ進みます。異なるサイズの用紙を補給する場合は、次の手順へ進みます。



取っ手はロックが解除されるまで握り締めてください。

2



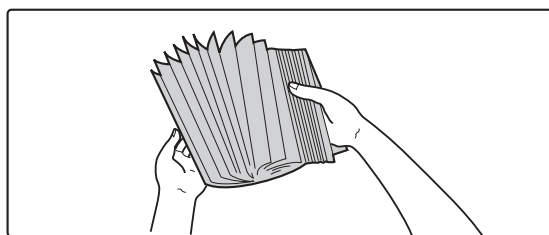
トレイ内の仕切り板A、Bを、用紙の縦と横のサイズに合わせる

仕切り板A、Bはスライド式です。固定ノブをつまみながら、スライドして変更する用紙サイズに合わせます。



不定形サイズの用紙をセットできるのはトレイ4です。トレイ3には不定形サイズの用紙をセットすることはできません。

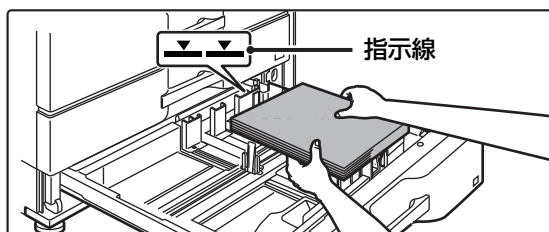
3



用紙をさばく

用紙はセットする前によくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。

4

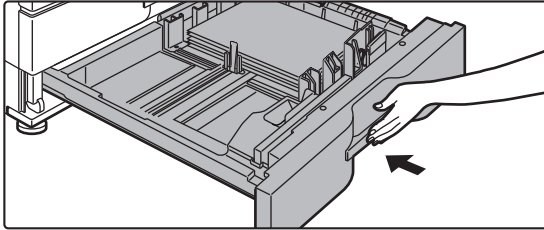


用紙をトレイに入れる

用紙はプリントしたい面を上向きにして、指示線をこえない枚数（最大550枚）をセットします。



5



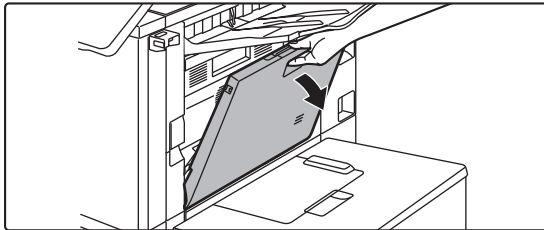
トレイを静かに押し込む

奥までゆっくりと確実に押し込みます。
勢いよく強く押し込むと、用紙が斜め送りになり、紙づまりの原因になります。

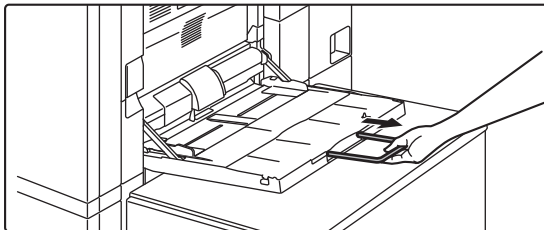
その他のトレイに用紙を補給する

手差しトレイ

1

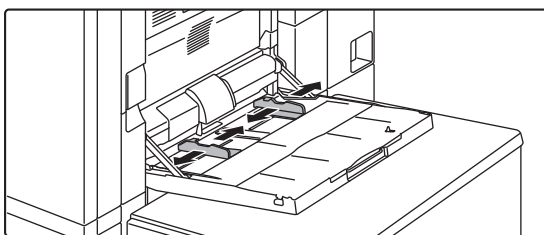


手差しトレイを開く



A4Rまたは8-1/2"x11"Rよりも大きい用紙をセットするときは補助ガイドを引き出します。
補助ガイドはいっぱいまで確実に引き出します。

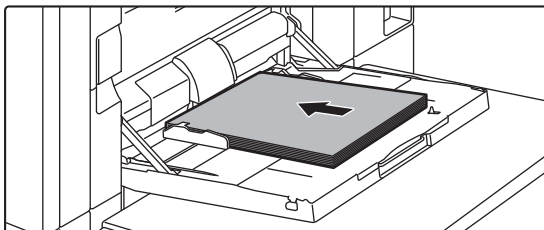
2



手差しガイドをセットする用紙のサイズにきちんと合わせる

手差しガイドをセットした用紙に軽く当てるように合わせます。

3



プリントしたい面を下向きにセットする

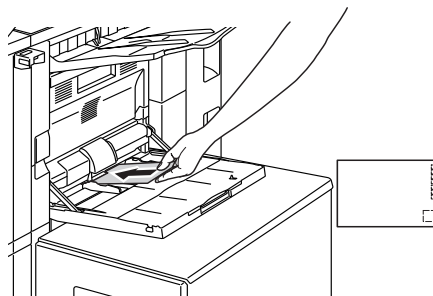
手差しガイドに沿って突き当たるところまで確実に用紙をゆっくりと挿入します。強く挿入しすぎると用紙の先端が折れ曲がったり、ゆるく挿入すると用紙が斜め送りになり、紙づまりの原因となります。
上限枚数以内で、指示線をこえてはいけません。



お使いになる前に

手差しトレイに郵便はがきをセットする場合

必ずコピーやプリントする面を下向きにしてセットします。図は宛名面にプリントする場合の例です。

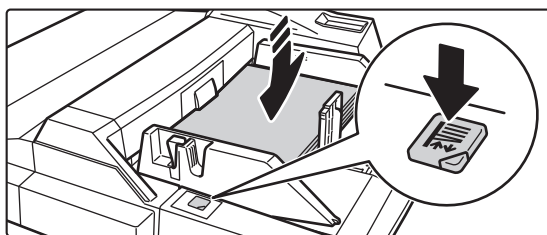


郵便はがきをセットする場合は用紙タイプを設定してください。

▶ [トレイの設定を変更する \(27ページ\)](#)

大容量2段給紙トレイ

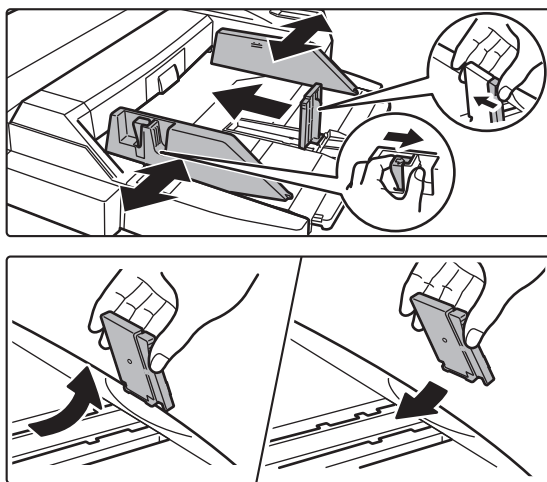
1



手差しトレイにある用紙を交換する場合は、操作ボタンを押し、用紙を取り出す

給紙テーブルが下降します。給紙テーブルが下降中は、操作ボタンのランプが点滅します。下降し終わると点灯に変わります。点滅が終わるまで、用紙を取り出さないでください。

2



セットする用紙サイズに手差しガイドを合わせる

手差しガイド固定レバーをつまみながら、用紙の大きさに合わせて手差しガイドを調整します。また、後端の手差しガイドも調整します。

A4R または 8-1/2"x11"Rよりも大きい用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。また、後端の手差しガイドを取りはずして、補助トレイに取り付けてください。



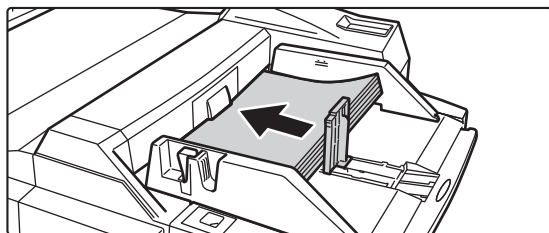
- 補助トレイは、いっぱいまで確実に引き出してください。
- A3Wより大きい用紙サイズをセットするときは、後端の手差しガイドを取りはずして使用してください。



手差しトレイに重い物をのせたり、上から強く押さえたりしないでください。



3



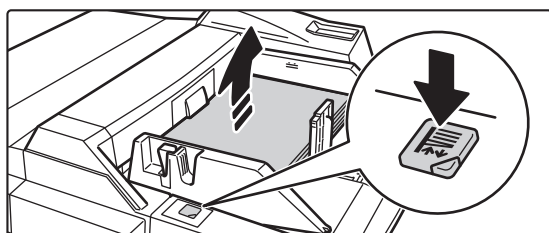
手差しガイドに沿って突き当たるところまで確実に用紙を挿入し、右側のガイドを合わせる

印刷したい面を下向きにセットしてください。
用紙は指示線をこえない枚数をセットしてください。
トレイには最大550枚の用紙をセットできます。



- セットする用紙は強く押し込まないでください。
- 用紙と手差しガイドの間にすき間がある場合は、もう一度手差しガイドを用紙の幅にきちんと合わせてください。すき間があると斜め送りやシワ寄りの原因となります。

4



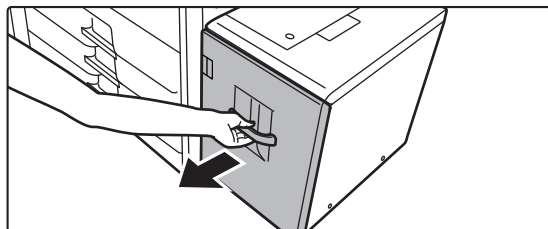
操作ボタンを押す

給紙テーブルが上昇します。給紙テーブルが上昇中は、操作ボタンのランプが点滅します。上昇が終わると点灯が変わります。

大容量給紙トレイ (MX-LC12)

用紙サイズを変更するときはサービス担当者が行います。

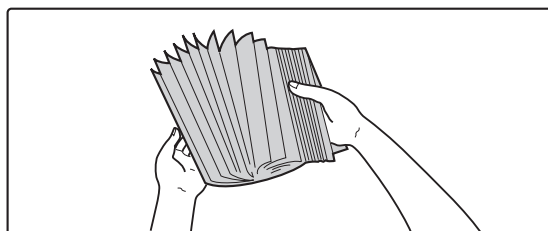
1



トレイを引き出す

トレイを止まる場所まで静かに引き出します。

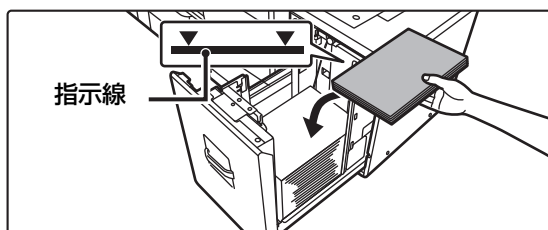
2



用紙をさばく

用紙はセットする前によくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。

3

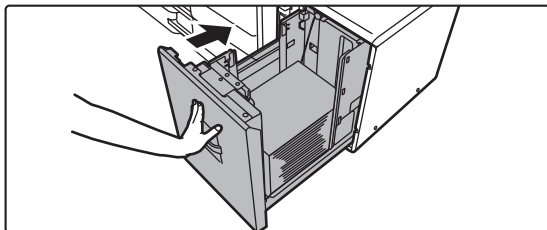


給紙テーブルの中央に用紙をセットする

用紙はプリントする面を上向きにして、指示線をこえない枚数(最大4,000枚)をセットします。



4

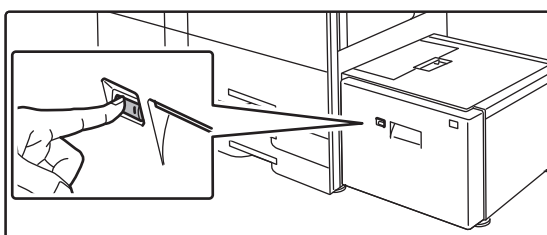


トレイを静かに押し込む

奥までゆっくりと確実に押し込みます。
勢いよく強く押し込むと、用紙が斜め送りになり、紙づまりの原因になります。

大容量給紙トレイ (MX-LCX3 N)

1



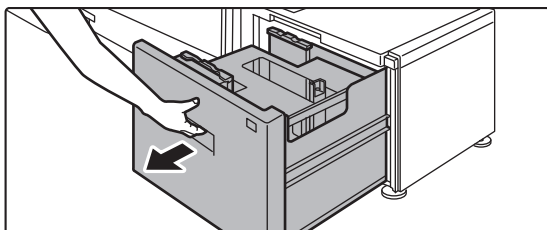
操作ボタンを押す

操作ボタンのランプが点滅し、トレイの給紙テーブルが用紙補給位置まで下降します。操作ボタンのランプが消灯するまでお待ちください。



ランプが消灯するまではトレイを引き出さないでください。点灯または点滅中にトレイを無理に引き出すと、故障の原因となります。

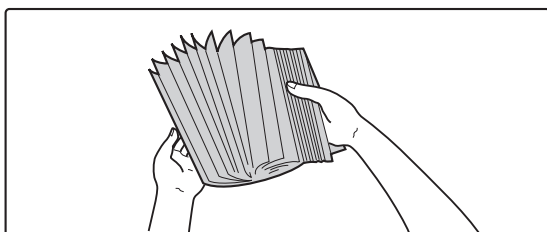
2



トレイを引き出す

トレイを止まるまで静かに引き出します。

3

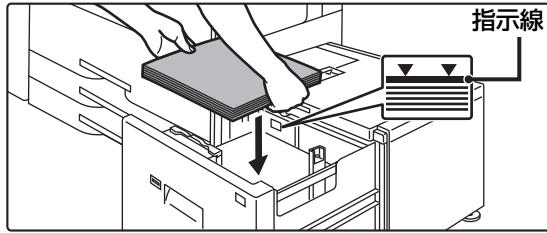


用紙をさばく

用紙はセットする前によくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。



4



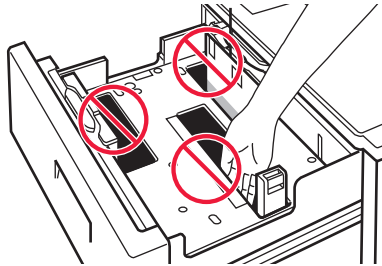
給紙テーブルの中央に用紙をセットする

用紙はプリントする面を上向きにして、指示線をこえない枚数（最大3500枚）をセットします。

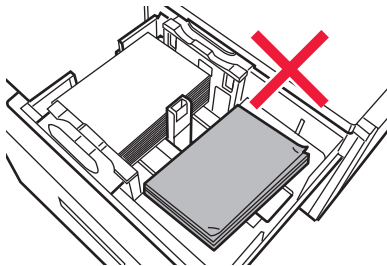
用紙をある程度セットすると、給紙テーブルが自動的に少し下がり停止します。同様にこの動作を繰り返して、用紙をセットしてください。



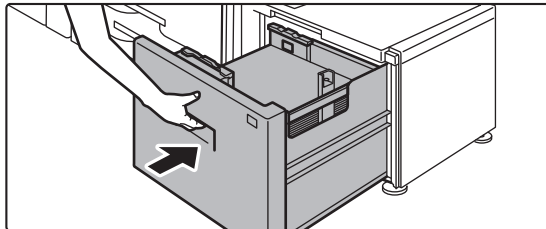
- 用紙をセットするときは、給紙テーブルの内部のすき間に手などを入れないでください。



- トレイ内部の空いている場所に予備の用紙や物を入れないでください。



5



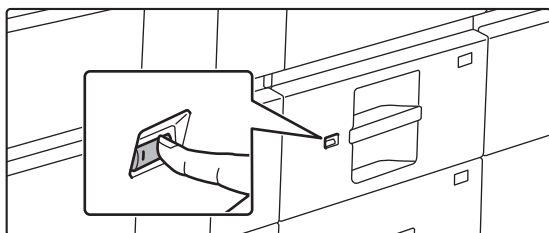
トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。トレイを押し込んだあと、給紙テーブルが上昇します。給紙テーブルが上昇中は、操作ボタンのランプが点滅します。上昇が終わると点灯に変わります。



大容量2段給紙トレイ (MX-LC13)

1



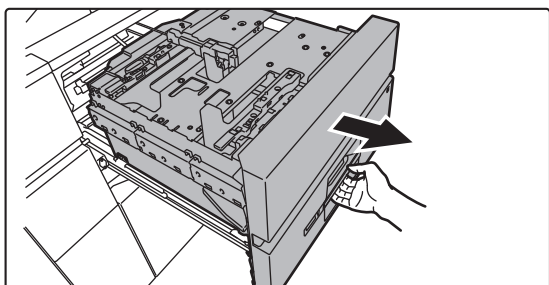
操作ボタンを押す

操作ボタンのランプが点滅し、トレイの給紙テーブルが用紙補給位置まで下降します。操作ボタンのランプが消灯するまでお待ちください。



ランプが消灯するまではトレイを引き出さないでください。点灯または点滅中にトレイを無理に引き出すと、故障の原因となります。

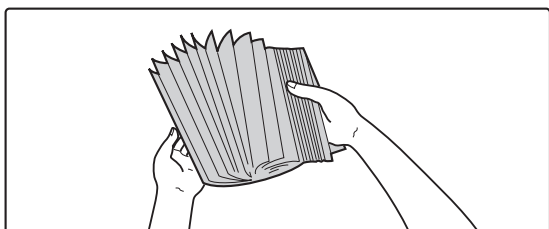
2



トレイを引き出す

トレイを止まるまで静かに引き出します。

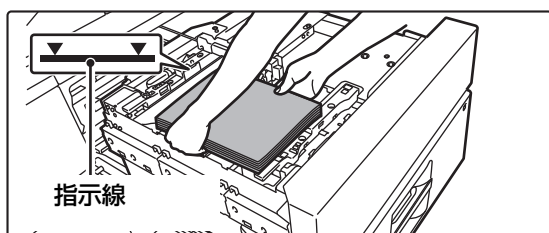
3



用紙をさばく

用紙はセットする前によくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。

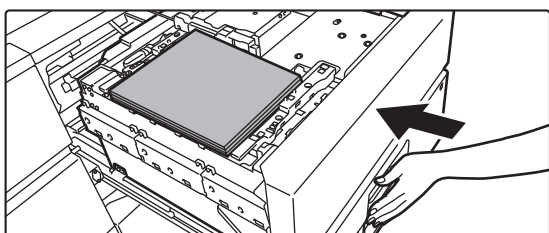
4



用紙をセットする

用紙はプリントする面を下向きにして、指示線をこえない枚数（各トレイ最大2,750枚）をセットします。

5



トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。トレイを押し込んだあと、給紙テーブルが上昇します。

給紙テーブルが上昇中は、操作ボタンのランプが点滅します。上昇が終わると点灯に変わります。



トレイの設定を変更する

トレイにセットする用紙を変更するときは、ホーム画面にある[給紙トレイ設定]キーから本機のトレイ設定を変更します。ここでは、トレイ3の用紙をA4普通紙からB5再生紙へ変更する操作を例に説明しています。

1



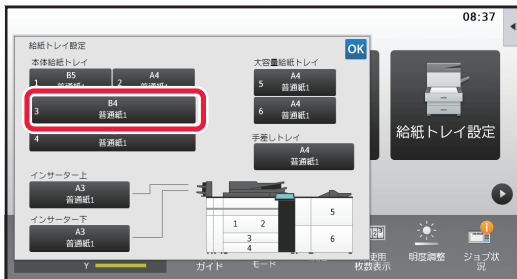
[ホーム画面]キーを押す

ホーム画面が表示されます。

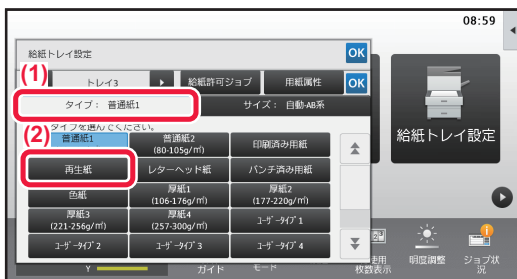
2



[給紙トレイ設定]キーをタップし、本体給紙トレイ3のキーをタップする



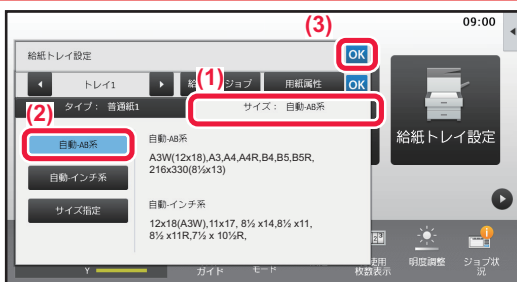
3



用紙タイプを設定する

- (1) 用紙タイプタブをタップする
- (2) [再生紙]キーをタップする

4



用紙サイズを設定する

- (1) 用紙サイズタブをタップする
- (2) [自動-AB系]キーをタップします。
- (3) 「給紙トレイ設定」の **OK** をタップする



お使いになる前に

アドレス帳を登録する

アドレス帳には、「連絡先」と「グループ」を登録できます。
ここでは名前や宛先を直接入力して、アドレス帳に連絡先を新規登録する操作を例に説明しています。

1



[ホーム画面]キーを押す

ホーム画面が表示されます。

2



[宛先登録]キーをタップする

3



アドレス帳に登録する内容を入力する

(1) 基本情報を入力する

[名称]と[よみがな]は必ず入力します。
カテゴリーを指定する場合は、入力欄をタップして表示されるカテゴリーリストから選択します。
得意先に登録する場合は、[得意先にも登録]チェックボックスを ☒ にします。

(2) [ファクス番号]、[E-mailアドレス]、[インターネットFaxアドレス]、[ダイレクトSMTP] をタップして宛先を入力し **OK** をタップする

4



[登録]キーをタップする

各種宛先の1件目は常に通常使用する宛先として設定されます。宛先の横のチェックボックスにチェックした宛先が0件の場合は、通常使用する宛先を選択するかどうかの確認画面が表示されます。

連絡先を編集または削除する

ホーム画面の[アドレス帳]キーから編集または削除する連絡先を選択し、アクションパネルの  をタップして[編集]または[削除]をタップします。





ユーザー認証について

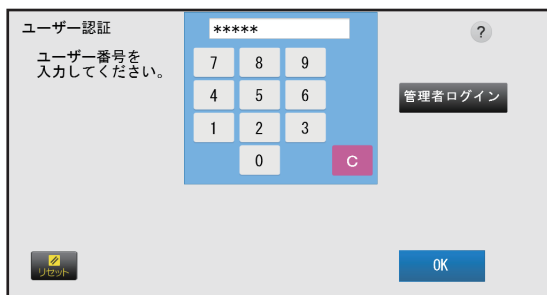
設定モードでユーザー認証が有効に設定されていると、本機をお使いになるときにログインする必要があります。工場出荷時はユーザー認証が無効に設定されています。
本機をお使いになったあとは、ログアウトして作業を終了します。

認証の方法について

認証の方法にはユーザー番号方式とログイン名／パスワード方式、ICカード方式、およびクイックログイン方式があります。ログインの際に必要な情報については、本機のシステム管理者にご確認ください。

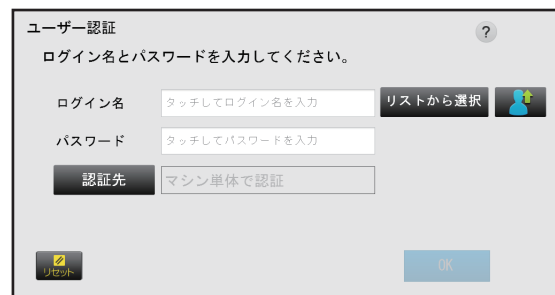
ユーザー番号方式

あらかじめ本機の管理者から与えられたユーザー番号を使って、認証を受ける方式です。
本機を使用するときに、ログイン画面を表示します。



ログイン名／パスワード方式

あらかじめ本機またはLDAPサーバーの管理者から与えられたログイン名とパスワードを使って認証を受ける方式です。
本機を使用するときに、ログイン画面を表示します。



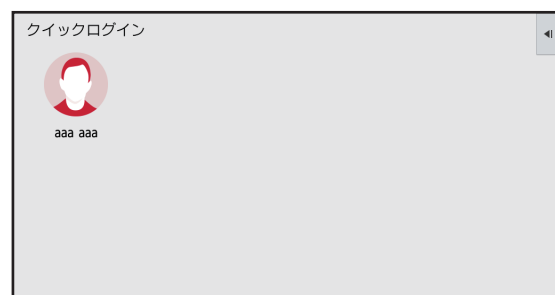
ICカード方式

非接触式のICカードを使って、ユーザー認証をします。



クイックログイン方式

本機のみでユーザー認証するときに使用できます。
あらかじめ本機の管理者が登録したアイコンをタップしてかんたんに認証を受ける方式です。



ログアウトについて

本機をお使いになったあとは、ログアウトしてください。第三者による不正な使用を防ぐ目的があります。





本機で使用できるさまざまな機能

本機は目的に合わせてさまざまな機能を設定できます。

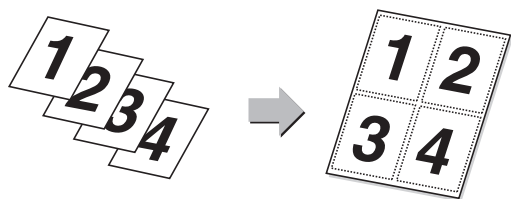
ここでは便利な機能の一部を説明しています。詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。

用紙、時間を節約する機能

ページ集約



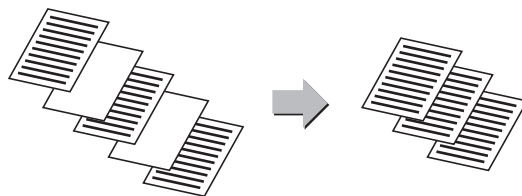
複数ページの原稿を1枚の用紙に均等に割り付けます。ページ数の多い資料をコンパクトにまとめたり、全ページを一覧したいときに便利です。



白紙飛ばし



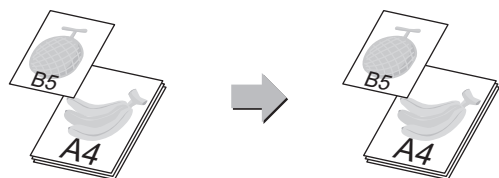
読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙ページを飛ばして、白紙以外の原稿をコピーまたは送信します。本機が白紙のページを判断するため、原稿内の白紙の有無を確認しなくても無駄なコピーまたは送信を省きます。



混載原稿



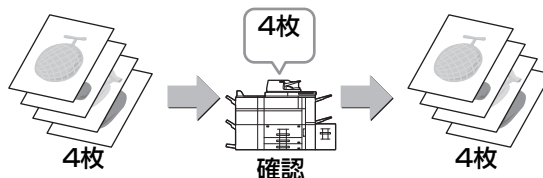
A4サイズの原稿の中にB5サイズの原稿が含まれているような場合でも、すべての原稿を一度にまとめて読み込みます。また、コピーの場合、混載原稿と倍率自動選択を組み合わせると、選択した用紙サイズに合わせて、原稿ごとに倍率を変更し、統一した用紙サイズでプリントします。



原稿枚数カウント



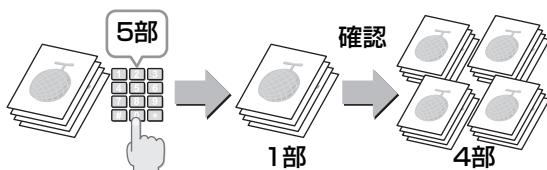
読み込んだ原稿の枚数をカウントして、動作する前に表示します。読み込んだ原稿の枚数を確認することでミスを減らします。



試しコピー



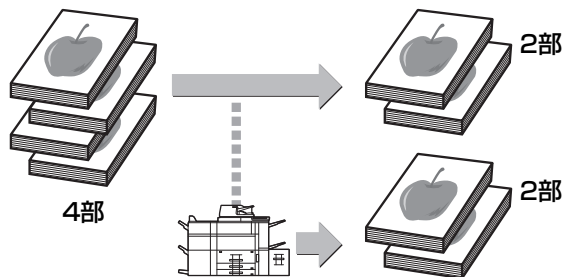
設定した部数をコピーする前に、ためしに1部だけコピーします。試しコピーで仕上がりを確認し、必要に応じて設定内容を変更します。試しコピーでは、読み込んだ原稿を本機が保持しているため、変更した設定で改めて原稿を読み込む手間を省けます。



連結コピー



ネットワークに接続した2台の本機を使用してコピー作業を半分ずつ分担することで、コピーの処理時間を短縮します。

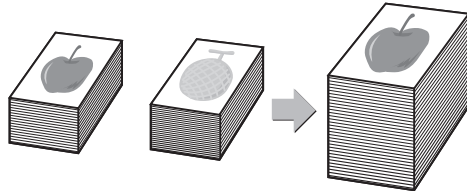




大量原稿モード



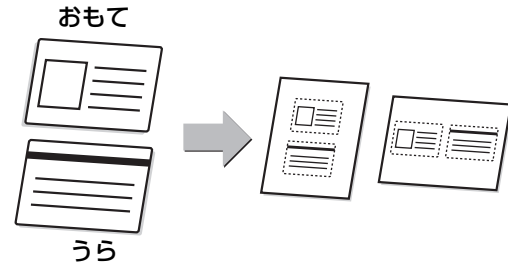
ページ数の多い原稿を、原稿自動送り装置で数回に分けて読み込み、一度にまとめてコピーまたは送信します。



カードスキャン



各種カードの表と裏を別々の用紙にコピーすることなく1枚の用紙に並べてコピーまたは送信します。
お客様の証明用コピーなどを効率的にコピーでき、用紙の節約にもつながります。



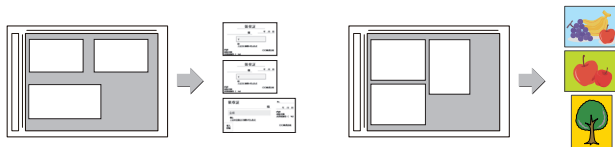
マルチクロップスキャン/ 写真クロップ



原稿台（ガラス面）にセットした複数の領収書や写真などをスキャン時に自動的に切り出して個別にファイル化することができます。

マルチクロップ

写真クロップ



自動設定



シンプルスキャンモードの基本画面で「自動設定」キーをタップすると、原稿に合わせて読み込み設定を自動で設定することができます。原稿のセット向き、解像度、白紙飛ばし、片面・両面読み込み※、PDFの傾き補正、白黒2値／グレースケール自動判別を自動で設定します。

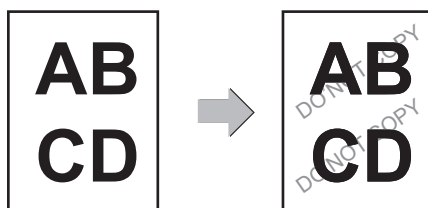


セキュリティを強化する機能

地紋印字



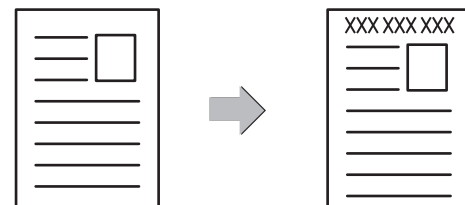
定型文や入力文字など、不正コピー抑止用の文字を背景模様（地紋）の中に隠して埋め込みます。
地紋印字した出力紙をコピーすると、隠してある文字が浮かび上がります。



追跡情報印字



不正防止のため、あらかじめ設定した追跡可能な情報を強制的に印字します。



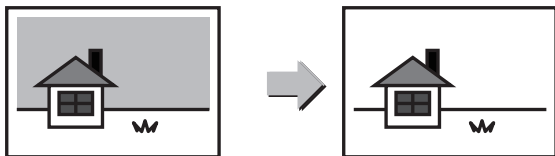


読み込みに関する機能

地色調整



原稿の濃度の薄い部分を地色として薄くしたり濃くしたり調整します。

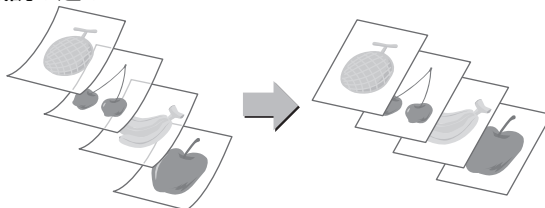


薄紙読み込み/厚紙読み込み

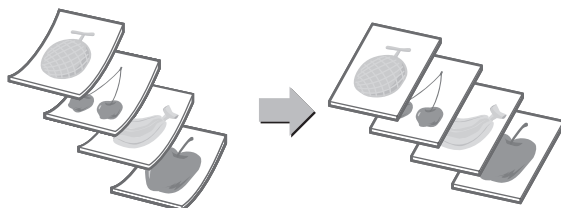


原稿自動送り装置を使って薄い紙や厚紙の原稿を読み込みたいときに使用します。この機能を使うと、原稿がつまりにくくなります。

薄紙読み込み



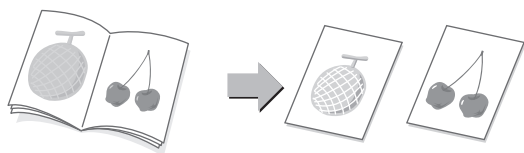
厚紙読み込み



ページ分割



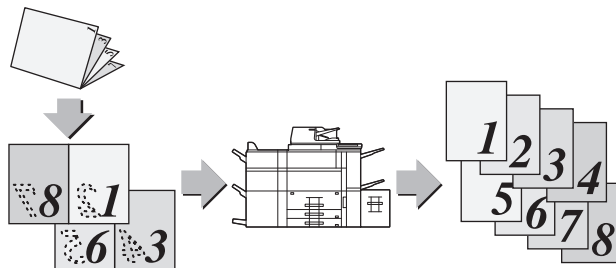
1枚の原稿を左右で分割して、2ページの原稿として送信します。本などの見開き原稿を1ページずつ順番に送信したいときに便利です。



ブック分割



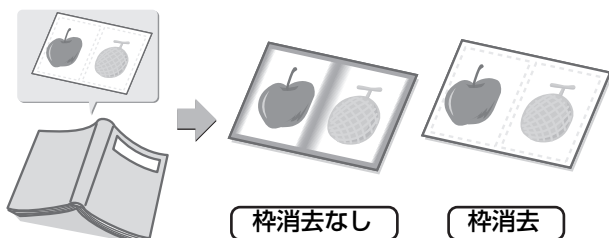
カタログや小冊子など、中とじされた原稿を1ページずつ分割して順番にコピーまたは送信します。



枠消去



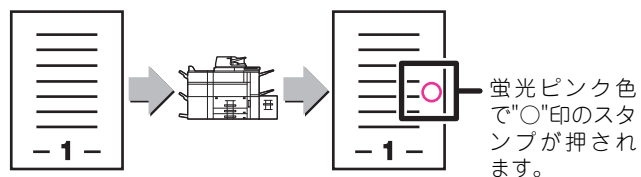
厚手の原稿や本などの見開き原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消します。



済スタンプ



原稿自動送り装置を使用して読み込んだ原稿に済スタンプを付けて、すべての原稿が正しく読み込まれたかどうか確認します。





コピー

コピー機能を使うための基本的な操作方法を説明しています。

▶ コピーのしかた	34
▶ コピーモードについて	36
▶ 特殊な用紙にコピーする（手差しコピー）	37



コピーのしかた

ここでは、倍率を設定する操作を例に説明しています。

1



[ホーム画面]キーを押す

ホーム画面が表示されます。

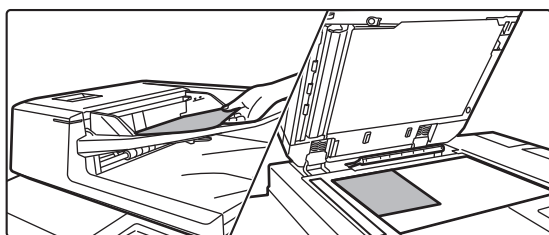
2



[シンプルコピー]モードアイコンをタップする

シンプルコピーモードの画面が表示されます。

3

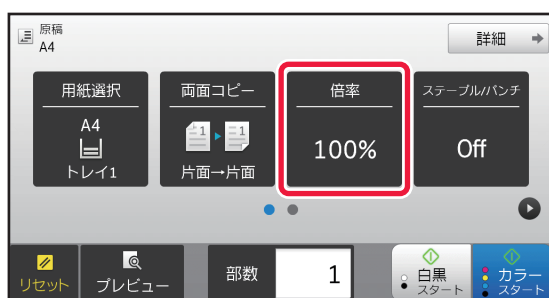


原稿をセットする

原稿を原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

▶ [原稿のセットのしかた（16ページ）](#)

4



[倍率] キーをタップする

シンプルモードでは下記の機能が設定できます。

- 用紙選択
- 両面コピー
- 倍率
- ステープル※1、ステープル/パンチ※2
- カラーモード
- 画像の向き
- コピー濃度
- ページ集約
- カードスキャン

※1 フィニッシャー、フィニッシャー（大容量）、サドルフィニッシャー、またはサドルフィニッシャー（大容量）装着時

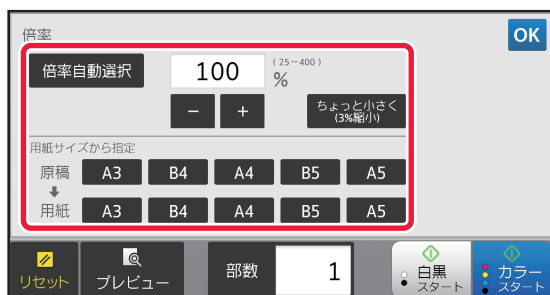
※2 フィニッシャー、フィニッシャー（大容量）、サドルフィニッシャー、またはサドルフィニッシャー（大容量）とパンチユニット装着時

より詳細な設定を行う場合は、「[詳細]」キーをタップしてノーマルモードで操作します。

▶ [コピーモードについて（36ページ）](#)



5



倍率を設定する

設定が終わったら **OK** をタップします。

6



部数を設定して、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーをタップする

- 工場出荷時は[カラースタート]キーをタップすると、原稿が白黒かフルカラーを判別して自動的にフルカラーと白黒2値を切り替えてスキャンします。[白黒スタート]キーをタップすると、白黒2値でスキャンします。詳細についてはユーザーズマニュアルを参照してください。
- 実行前に仕上がりを確認したい場合は、[プレビュー]キーをタップします。

▶ [プレビュー画面 \(15ページ\)](#)

コピー中止

 コピー中止

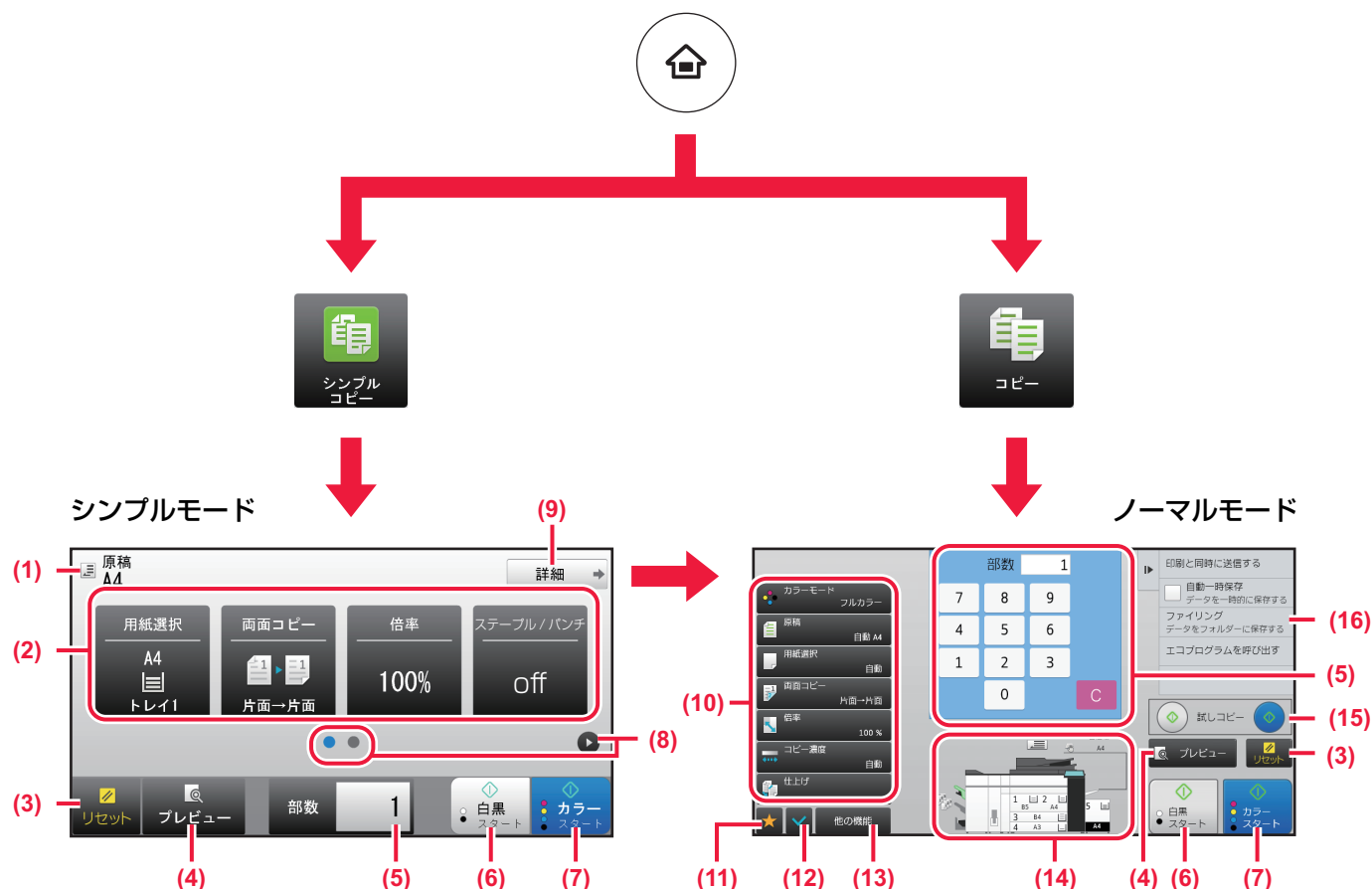


コピーモードについて

コピーモードにはシンプルモードとノーマルモードの2種類があります。

シンプルモードは、よく使う機能など必要最小限の機能で構成され、大半のコピー操作がスムーズに行えます。

詳細な設定や特殊な機能を使用する場合はノーマルモードで操作します。ノーマルモードではすべての機能が使用できます。



(1) セットした原稿サイズを表示します。

(2) 設定する機能を選びます。

シンプルモードに表示される機能を設定するには
 「設定（管理者）」の［システム設定］→［共通設定］
 →［操作設定］→［シンプルモード設定］→［シ
 ンプルコピー］で設定します。

(3) すべての設定をリセットします。

(4) 原稿を読み込んでプレビューします。

▶ [プレビュー画面（15ページ）](#)

(5) コピー部数を入力します。

(6) 白黒コピーを開始します。

(7) カラーコピーを開始します。

(8) 機能の表示を切り替えます。

(9) ノーマルモードに切り替えます。

(10) コピーするとき使用する設定キーです。

(11) 機能キーを一覧表示します。よく使う［他の機能］を登録します。

(12) 設定状況を確認します。

(13) 上に表示されている機能キー以外のキーを一覧表示します。

▶ [本機で利用できるさまざまな機能（30ページ）](#)

(14) 原稿の有無や各トレイにセットされている用紙サイズを表示します。タップすると各トレイの用紙を設定する画面が表示されます。

(15) 白黒またはカラーで、試し刷りのプリントを開始します。

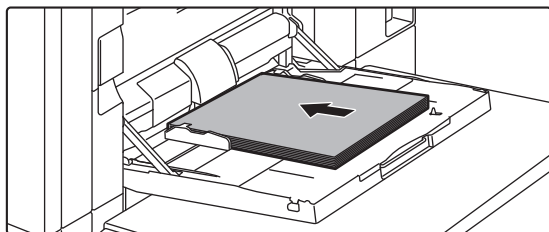
(16) コピーモードで活用できる機能を表示します。



特殊な用紙にコピーする（手差しコピー）

ここではA4サイズの厚紙を手差しトレイにセットする操作を例に説明しています。

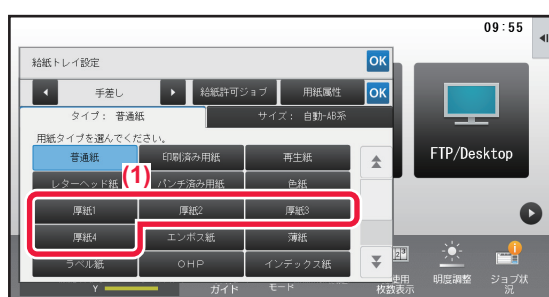
1



手差しトレイに用紙をセットする

▶ [手差しトレイ（21ページ）](#)

2



タッチパネルで設定する

(1) [厚紙1]、[厚紙2]、[厚紙3]または[厚紙4]キーをタップする

セットする厚紙の坪量が、 $106\text{g/m}^2 \sim 176\text{g/m}^2$ の場合は[厚紙1]キーを、 $177\text{g/m}^2 \sim 220\text{g/m}^2$ の場合は[厚紙2]キーを、 $221\text{g/m}^2 \sim 256\text{g/m}^2$ の場合は[厚紙3]キーを、 $257\text{g/m}^2 \sim 300\text{g/m}^2$ の場合は[厚紙4]キーをタップしてください。



(2) [サイズ：自動-A4系]タブをタップする

(3) [自動-A4系]キーをタップする

(4) 「給紙トレイ設定」の **OK** をタップする

3



[シンプルコピー]モードアイコンをタップする

シンプルコピーモードの画面が表示されます。



4



【用紙選択】 キーをタップする

5



手差しを選択する

6



部数を設定して、[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーをタップする

- 工場出荷時は[カラースタート]キーをタップすると、原稿が白黒かフルカラーを判別して自動的にフルカラーと白黒2値を切り替えてスキャンします。[白黒スタート]キーをタップすると、白黒2値でスキャンします。詳細についてはユーザーズマニュアルを参照してください。
- 実行前に仕上がりを確認したい場合は、[プレビュー]キーをタップします。

▶ [プレビュー画面 \(15ページ\)](#)

枚数訂正

C

読み込み中止

読み込み中止

コピー中止

コピー中止



プリンター

本機のプリンタードライバーを使った基本的なプリントのしかたを説明しています。画面の説明や操作手順は、Windows®環境の場合はWindows® 10で、macOS環境の場合はmacOS 10.12でお使いになる場合を主体にそれぞれ説明しています。画面はOSやプリンタードライバーのバージョン、アプリケーションソフトなどによって異なります。

- ▶ Windows環境からプリントする 40
- ▶ macOS環境からプリントする 42
- ▶ USBメモリー内のファイルを直接プリントする 44



Windows環境からプリントする

ここでは、A4サイズで作成したデータを、Windowsに標準で付属しているアプリケーションソフト「ワードパッド」からプリントする場合を例に説明します。

Windows環境でのプリンタードライバのインストール方法や設定方法については、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。

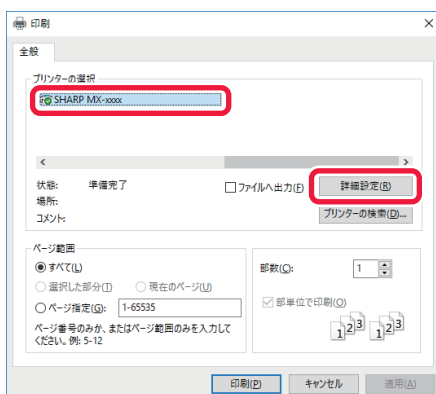
プリンタードライバの種類や使用条件などについては、ユーザーズマニュアルを参照してください。

1



ワードパッドの[ファイル]メニューから[印刷]を選択する

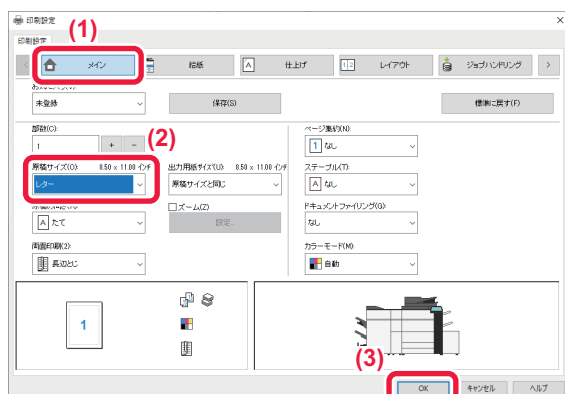
2



本機のプリンタードライバを選択して[詳細設定]ボタンをクリックする

プリンタードライバ名が一覧で表示されているときは、使用するプリンタードライバ名を一覧から選択します。

3



プリント設定を行う

(1) [メイン]タブをクリックする

(2) 原稿サイズを選択する

その他の設定項目は各タブをクリックして切り替えて設定してください。

(3) [OK]ボタンをクリックする

- 参照したい設定項目をクリックし、[F1]キーを押すと、その設定項目に対するヘルプを確認できます。
- [ヘルプ]ボタンをクリックすると、ヘルプ画面が開いて、タブ上の設定項目についてのヘルプを確認できます。



4

[印刷] ボタンをクリックする

プリントが実行されます。

郵便はがきや封筒にプリントする方法

郵便はがきや往復はがき、四面連刷はがきにプリント

手差しトレイまたはトレイ5 / トレイ6（大容量2段給紙トレイ）を使用して、郵便はがきにプリントします。トレイ5では、はがきと四面連刷はがき、トレイ6では四面連刷はがきが使用できます。アプリケーションソフトの「ページ設定」などで、データを郵便はがきサイズに設定してから操作します。



- (1) [給紙] タブをクリックする
- (2) 「出力用紙サイズ」から、[はがき]、[往復はがき]、[四面連刷はがき] を選択する
- (3) 「給紙トレイ」から [手差しトレイ] または [トレイ5] / [トレイ6] を選択する

本機の手差しトレイまたはトレイ5/6の用紙タイプを [厚紙1] に設定し、手差しトレイまたはトレイ5/6に郵便はがきや往復はがき、四面連刷はがきをセットしてください。

- ▶ 手差しトレイに郵便はがきをセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ トレイ5に郵便はがきをセットする場合 [\(26ページ\)](#)
- ▶ 手差しトレイに往復はがきをセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ 手差しトレイに四面連刷はがきをセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ トレイ5/6に四面連刷はがきをセットする場合 [\(26ページ\)](#)

封筒にプリント

手差しトレイまたはトレイ4を使用して、封筒にプリントします。



- (1) [給紙] タブをクリックする
- (2) 「出力用紙サイズ」から、封筒のサイズ(長形3号など)を選択する
「出力用紙サイズ」を[封筒]に設定すると、「用紙タイプ」も自動的に[封筒]に設定されます。
- (3) 「給紙トレイ」から [手差し] または [トレイ4] を選択する



本機の手差しトレイまたはトレイ4の用紙タイプを [封筒] に設定し、手差しトレイまたはトレイ1に封筒をセットしてください。

- ▶ 手差しトレイに封筒をセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ トレイ4に封筒をセットする場合 [\(20ページ\)](#)

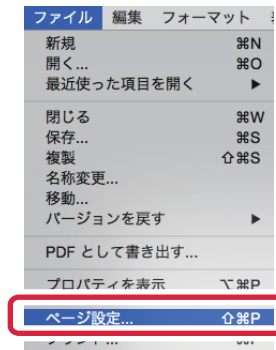


macOS環境からプリントする

ここでは、A4サイズで作成したデータを、macOSに標準で付属しているアプリケーションソフト「テキストエディット」からプリントする場合を例に説明します。

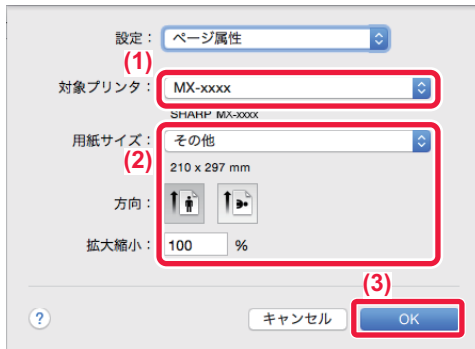
macOS環境でのインストール方法やプリンタードライバの設定方法については、ソフトウェアセットアップガイドを参照してください。

1



[ファイル] メニューから[ページ設定]を選択する

2



用紙設定を行う

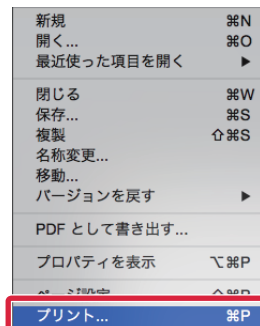
(1) 使用するプリンターが選択されているか確認する

(2) 用紙設定を行う

用紙サイズ、用紙の向き、拡大縮小を設定できます。

(3) [OK] ボタンをクリックする

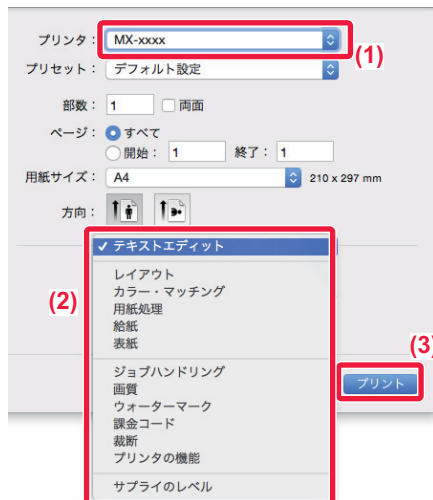
3



[ファイル] メニューから[プリント]を選択する



4



プリント設定を行う

- (1) 使用するプリンターが選択されているか確認する
- (2) メニューから項目を選択して必要な設定を行う
- (3) [プリント]ボタンをクリックする

郵便はがきや封筒にプリントする方法

郵便はがきや往復はがき、四面連刷はがきにプリント

手差しトレイまたはトレイ5 / トレイ6（大容量2段給紙トレイ）を使用して、郵便はがきや往復はがき、四面連刷はがきにプリントします。
トレイ5では、はがきと四面連刷はがき、トレイ6では四面連刷はがきが使用できます。
アプリケーションソフトの「ページ設定」などで、データを郵便はがきサイズに設定してから操作します。



- (1) 「用紙サイズ」から、[はがき]、[往復はがき]、[四面連刷はがき] を選択する
- (2) [給紙]を選択する
- (3) 「すべてのページ」から [手差しトレイ] または [トレイ5] / [トレイ6] を選択する

封筒にプリント

手差しトレイまたはトレイ4を使用して、封筒にプリントします。

アプリケーションソフトの「ページ設定」などで、データを封筒サイズに設定してから操作します。



- (1) 「用紙サイズ」から封筒のサイズ(長形3号など)を選択する
- (2) [給紙]を選択する
- (3) 「すべてのページ」から [手差し]または [トレイ4]を選択する



本機の手差しトレイまたはトレイ4の用紙タイプを [封筒] に設定し、手差しトレイまたはトレイ4に封筒をセットしてください。

- ▶ 手差しトレイに封筒をセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ トレイ4に封筒をセットする場合 [\(20ページ\)](#)



本機の手差しトレイまたはトレイ5/6の用紙タイプを [厚紙1] に設定し、手差しトレイまたはトレイ5/6に郵便はがきや往復はがき、四面連刷はがきをセットしてください。

- ▶ 手差しトレイに郵便はがきをセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ トレイ5に郵便はがきをセットする場合 [\(26ページ\)](#)
- ▶ 手差しトレイに往復はがきをセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ 手差しトレイに四面連刷はがきをセットする場合 [\(21ページ\)](#)
- ▶ トレイ5/6に四面連刷はがきをセットする場合 [\(26ページ\)](#)

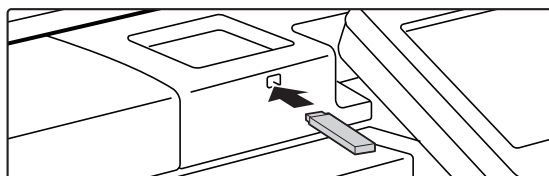


USBメモリー内のファイルを直接プリントする

本機に接続したUSBメモリー内のファイルを、プリンタードライバーを介さず本機の操作でプリントします。直接プリントできるファイルの種類とその拡張子は次のとおりです。

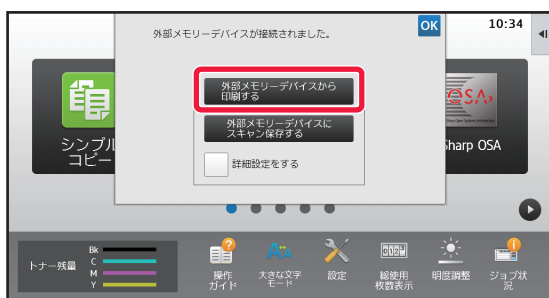
ファイルの種類	TIFF	JPEG	PCL	PDF、暗号化 PDF、高圧縮 PDF、PDF/A、Compact PDF/A	PS	DOCX、XLSX、PPTX	PNG
拡張子	tiff、tif	jpeg、jpg、jpe、jif	pcl、prn	pdf	ps、prn	docx、xlsx、pptx	png

1



USBメモリーを本機に接続する

2

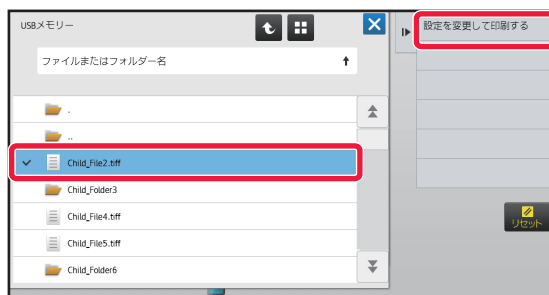


操作を選択する画面が表示されたら、[外部メモリーデバイスから印刷する] をタップする

画面が表示されない場合は次の手順で操作します。

- (1) [ドキュメントファイリング]キーをタップする
- (2) アクションパネルの[USBメモリーからファイルを選択して印刷する]をタップする

3



プリントするファイルのキーをタップし、アクションパネルの[設定を変更して印刷する]をタップする

- 複数のファイルをプリントする場合は、プリントするファイルをすべてタップして、アクションパネルの[印刷する]をタップします。
- [] をタップすると、リスト表示からサムネイル表示に切り替えることができます。

4



プリント条件を設定して[スタート]キーをタップする

5

USBメモリーを本機から抜き取る

Qualcomm®DirectOffice™はQualcomm Technologies,Incの製品です。
Qualcomm®はQualcomm Incorporatedの米国および他の国々で登録された商標です。
DirectOffice™はCSR imaging US,LPのトレードマークであり、米国やその他の国における登録商標です。



ファクス

本機のファクス機能を使うための基本的な操作方法を説明しています。

▶ ファクス送信のしかた.....	46
▶ ファクスモードについて	48



ファクス送信のしかた

ファクスを送信するときの基本的な操作を説明します。
ファクス機能では、原稿がカラーの場合でも白黒の画像で送信します。

1



[ホーム画面]キーを押す

ホーム画面が表示されます。

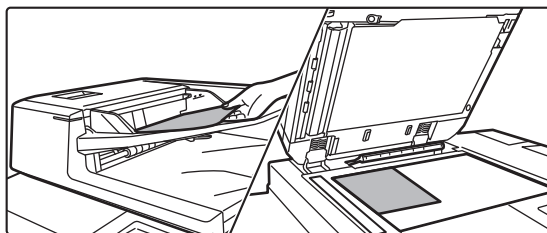
2



[シンプルファクス]モードアイコンをタップする

シンプルファクスモードの画面が表示されます。

3



原稿をセットする

原稿を原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

▶ [原稿のセットのしかた（16ページ）](#)

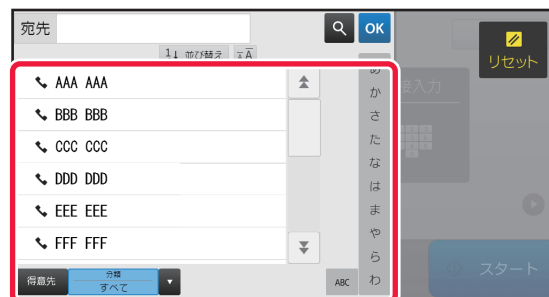
4



[アドレス帳]キーをタップする

[直接入力]キーをタップして相手先番号を直接入力したり、送信履歴から相手先番号を選択することもできます。

5



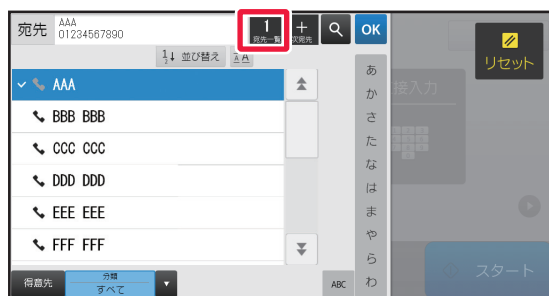
送信したい相手先のキーをタップする

タップした相手先を登録したときに、宛先の横のチェックボックスにチェックした宛先から現在のモードの宛先が選択されます。チェックされている宛先が登録されていない場合は、確認画面で[はい]キーをタップして、送信したい宛先を選択します。

送信する相手先を追加する場合は、相手先のキーをタップしてください。



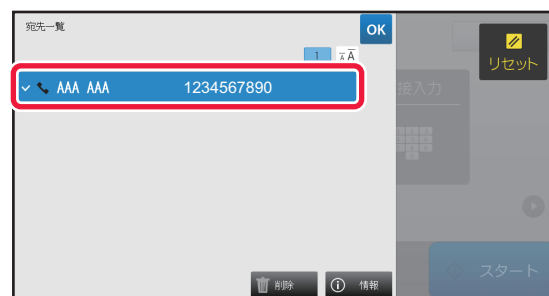
6



【宛先一覧】 キーをタップする

送信する相手先が一覧表示されます。

7



相手先を確認する

送信しない相手先が一覧に含まれていた場合は、送信しない相手先をタップし、[削除]キーをタップしてください。

8



をタップして画面を切り替えて機能を設定する

必要に応じて設定を変更します。

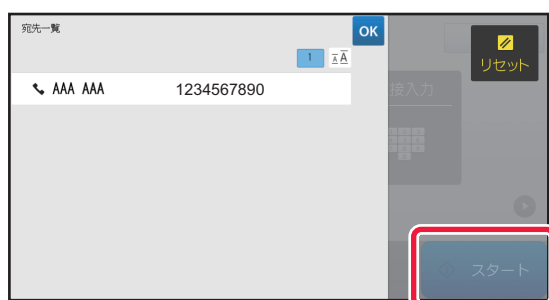
シンプルモードでは下記の機能が設定できます。

- 原稿
- 濃度
- 画質
- 回線選択

より詳細な設定を行う場合は、[詳細]キーをタップしてノーマルモードで操作します。

▶ [ファクスモードについて \(48ページ\)](#)

9



【スタート】キーをタップする

実行前に仕上がりを確認したい場合は、[OK]をタップしてシンプルファクスの基本画面に戻って、[プレビュー]キーをタップします。

▶ [プレビュー画面 \(15ページ\)](#)

読み込み中止

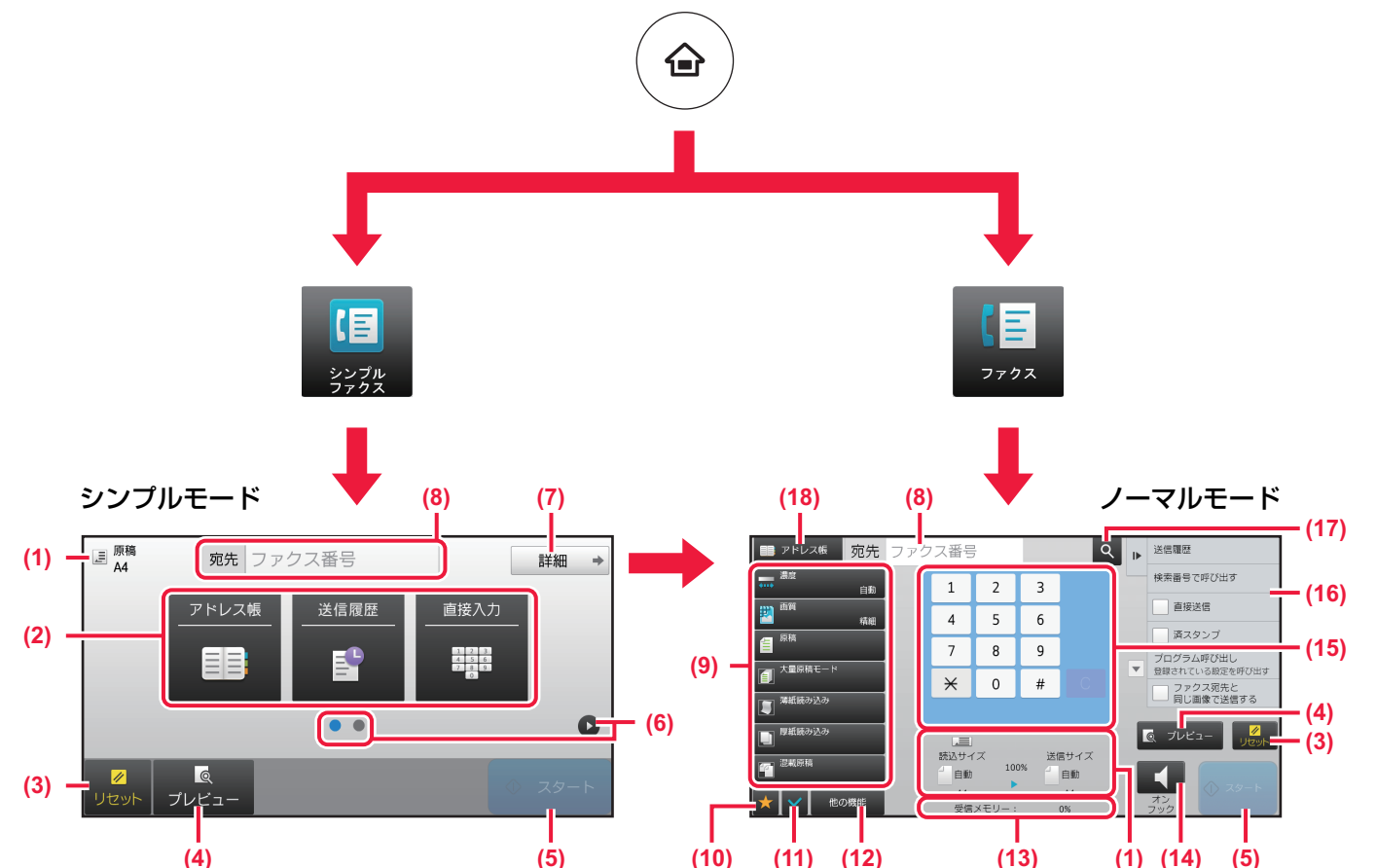


読み込み中止



ファクスモードについて

ファクスモードにはシンプルモードとノーマルモードの2種類があります。
シンプルモードは、よく使う機能など必要最小限の機能で構成され、大半のファクス操作がスムーズに行えます。
詳細な設定や特殊な機能を使用する場合はノーマルモードで操作します。



(1) 原稿と送信データのサイズを表示します。

(2) 宛先と設定する機能を選びます。

シンプルモードに表示される機能を設定するには
「設定（管理者）」の「システム設定」→「共通設定」
→「操作設定」→「シンプルモード設定」→「シン
プルファクス」で設定します。

(3) 設定と宛先をリセットします。

(4) 原稿を読み込んでプレビューします。

▶ [プレビュー画面（15ページ）](#)

(5) ファクス送信を開始します。

(6) 機能の表示を切り替えます。

(7) ノーマルモードに切り替えます。

(8) 宛先のファクス番号を表示します。

(9) ファクスするとき使用する設定キーです。

(10) 機能キーを一覧表示します。よく使う「他の機能」を登録します。

(11) 設定状況を確認します。

(12) 上に表示されている機能キー以外のキーを一覧表示します。

▶ [本機で利用できるさまざまな機能（30ページ）](#)

(13) 受信できるメモリー残量を表示します。

(14) オンフックダイヤルを使用するときにタップします。

(15) ファクス番号を入力します。

(16) ファクスモードで活用できる機能を表示します。

(17) 宛先を検索します。

(18) アドレス帳を表示します。



スキャナー

本機のネットワークスキャナー機能でできることの紹介とスキャナーモードでの基本的な操作方法を説明しています。

インターネットFaxモードをお使いになるためには、インターネットファクス拡張キットが必要です。

- ▶ 本機のネットワークスキャナー機能について 50
- ▶ イメージ送信のしかた 51
- ▶ スキャナーモードについて 53



本機のネットワークスキャナー機能について

本機のネットワークスキャナー機能を使用すると、読み取った画像ファイルをさまざまな方法で送信できます。ネットワークスキャナー機能には以下のモードがあります。
各モードを利用するには、ホーム画面のボタンをタップします。

スキャナーモード



メールアドレスに
送りたいなら、
E-mail送信スキャン



E-Mail



FTPサーバーにアップしたいなら、
ファイルサーバー送信スキャン



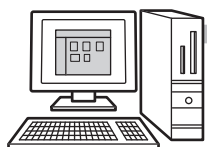
FTP/Desktop



お使いのコンピューター
の共有フォルダーに送りたいなら、
共有フォルダー送信スキャン



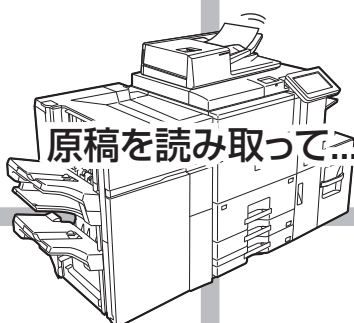
共有フォルダー



特定のアプリケー
ションソフトで処理
したいなら、
デスクトップ送信スキャン



FTP/Desktop



外部メモリーデバイス保存モード

USBメモリーに保存したい
なら、



スキャン保存

インターネットFaxモード

インターネット経由でファ
クスしたいなら、



インターネットFax

本機はダイレクトSMTPに対
応しています。

リモートPCスキャンモード

コンピューターの操作
で補正しながら写真を
読み取りたいなら、



リモートPC
スキャン

TWAIN対応アプリケーション
ソフトが利用できます。

データ入力モード

アプリケーションと連携したド
キュメントソリューションを利用した
いなら



Sharp USA



イメージ送信のしかた

スキャナーの基本的な操作です。

ここでは、スキャンしたファイルをアドレス帳に登録されている送信先へ、E-mailで送信する操作を説明しています。

1



[ホーム画面]キーを押す

ホーム画面が表示されます。

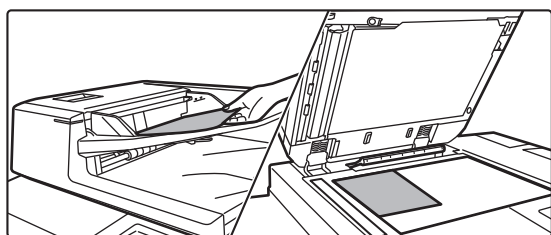
2



[シンプルスキャン]モードアイコンをタップする

シンプルスキャンモードの画面が表示されます。

3

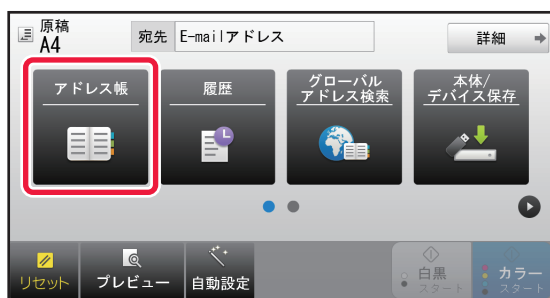


原稿をセットする

原稿を原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

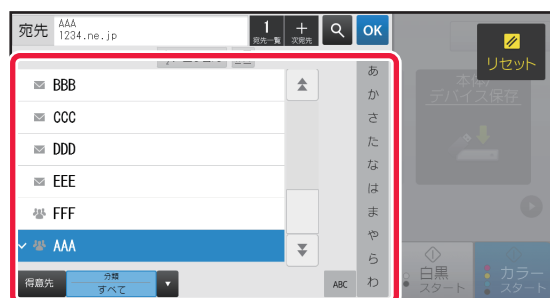
▶ [原稿のセットのしかた（16ページ）](#)

4



[アドレス帳]キーをタップする

5



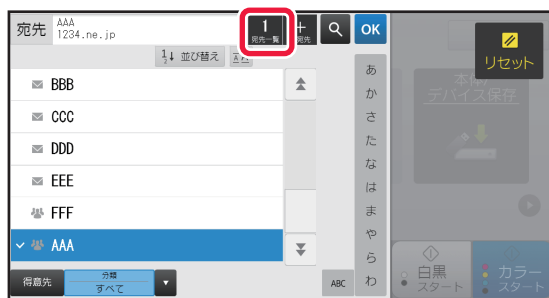
送信したい相手先のキーをタップする

タップした相手先を登録したときに、宛先の横のチェックボックスにチェックした宛先から現在のモードの宛先が選択されます。チェックされている宛先が登録されていない場合は、確認画面で[はい]キーをタップして、送信したい宛先を選択します。

送信する相手先を追加する場合は、相手先のキーをタップしてください。



6



【宛先一覧】 キーをタップする

送信する宛先が一覧表示されます。

7



相手先を確認する

送信しない宛先が一覧に含まれていた場合は、送信しない宛先をタップし、[削除]キーをタップしてください。

8



▶ をタップして画面を切り替えて、機能を設定する

必要に応じて設定を変更します。
シンプルモードでは下記の機能が設定できます。

- 原稿
- 解像度
- フォーマット
- 白紙飛ばし

より詳細な設定を行う場合は、[詳細]キーをタップしてノーマルモードで操作します。

▶ [スキャナーモードについて \(53ページ\)](#)

9



【カラースタート】 キーまたは【白黒スタート】 キーをタップする

- 工場出荷時は「カラースタート」キーをタップすると、原稿が白黒かフルカラーを判別して自動的にフルカラーと白黒2値を切り替えてスキャンします。「白黒スタート」キーをタップすると、白黒2値でスキャンします。詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。
- 実行前に仕上がりを確認したい場合は、OK をタップしてシンプルスキャンの基本画面に戻って、「プレビュー」キーをタップします。

▶ [プレビュー画面 \(15ページ\)](#)

読み込み中止





スキャナーモードについて

スキャナーモードの選択

ホーム画面にある利用したいスキャナーモードのアイコンをタップすると、スキャナーモードの基本画面が表示されます。利用したいボタンが表示されていない場合は、◀ や ▶ をタップして、画面を切り替えてください。

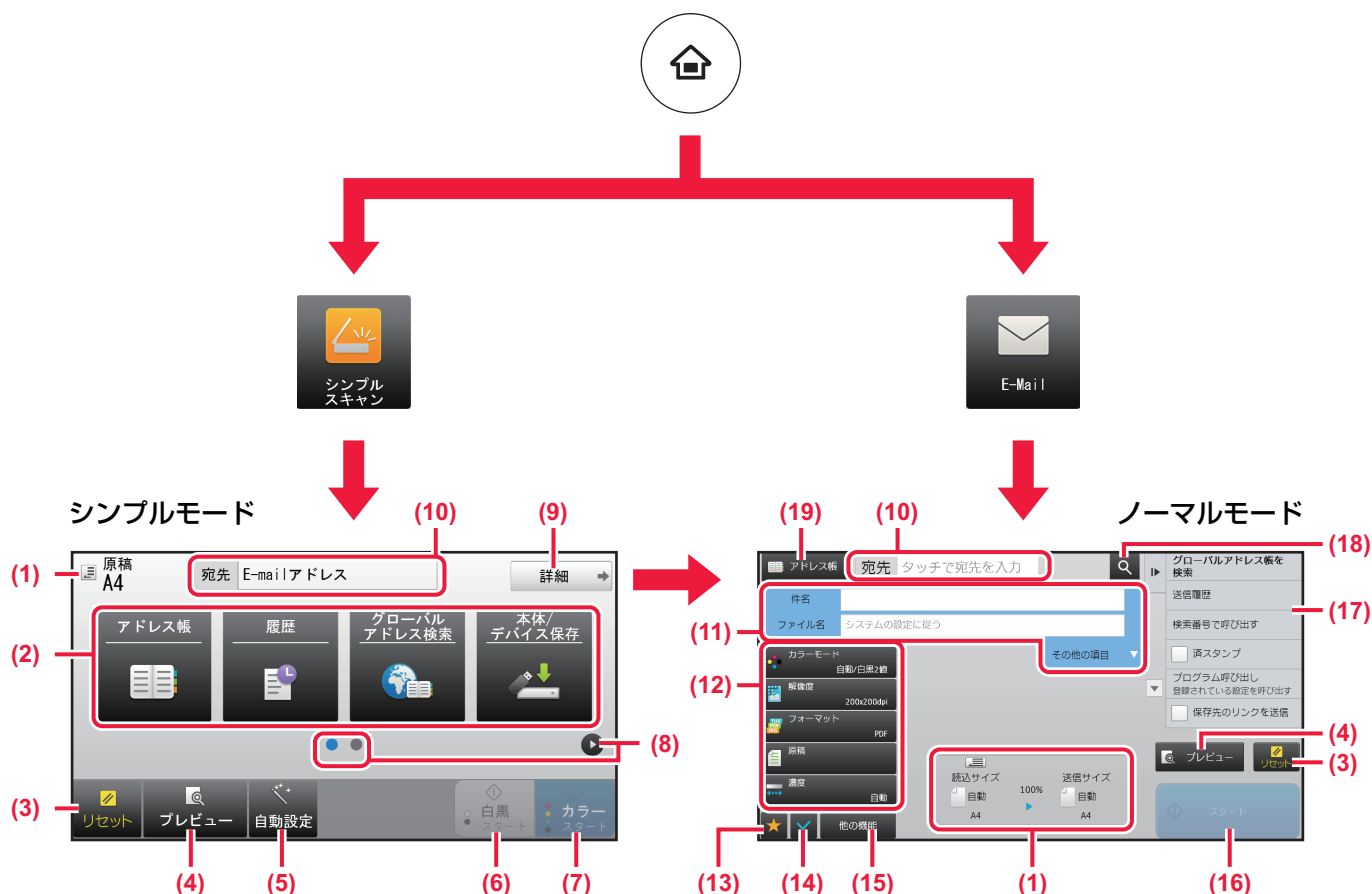




スキャナーモードの基本画面

スキャナーモードにはシンプルモードとノーマルモードの2種類があります。

シンプルモードは、よく使う機能など必要最小限の機能で構成され、大半のスキャン操作がスムーズに行えます。詳細な設定や特殊な機能を使用する場合はノーマルモードで操作します。



(1) 原稿と送信データのサイズを表示します。

(2) 宛先と設定する機能を選びます。

シンプルモードに表示される機能を設定するには
「設定（管理者）」の「システム設定」→「共通設定」→「操作設定」→「シンプルモード設定」→「シンプルスキャン」で設定します。

(3) 設定と宛先をリセットします。

(4) 原稿を読み込んでプレビューします。

▶ [プレビュー画面（15ページ）](#)

(5) 原稿のセット向き、解像度、白紙飛ばし、片面・両面読み込み、PDFの傾き補正、白黒2値／グレースケール自動判別を自動で設定します。

(6) 白黒スキャンを開始します。

(7) カラースキャンを開始します。

(8) 機能の表示を切り替えます。

(9) ノーマルモードに切り替えます。

(10) タップするとソフトキーボードを表示します。

(11) 件名やファイル名を入力します。スキャンの種類により、表示が変わります。

(12) スキャンするとき使用する設定キーです。

(13) 機能キーを一覧表示します。よく使う「他の機能」を登録します。

(14) 設定状況を確認します。

(15) 上に表示されている機能キー以外のキーを一覧表示します。

▶ [本機で利用できるさまざまな機能（30ページ）](#)

(16) スキャンを開始します。

(17) スキャナーモードで活用できる機能を表示します。

(18) 宛先を検索します。

(19) アドレス帳を表示します。



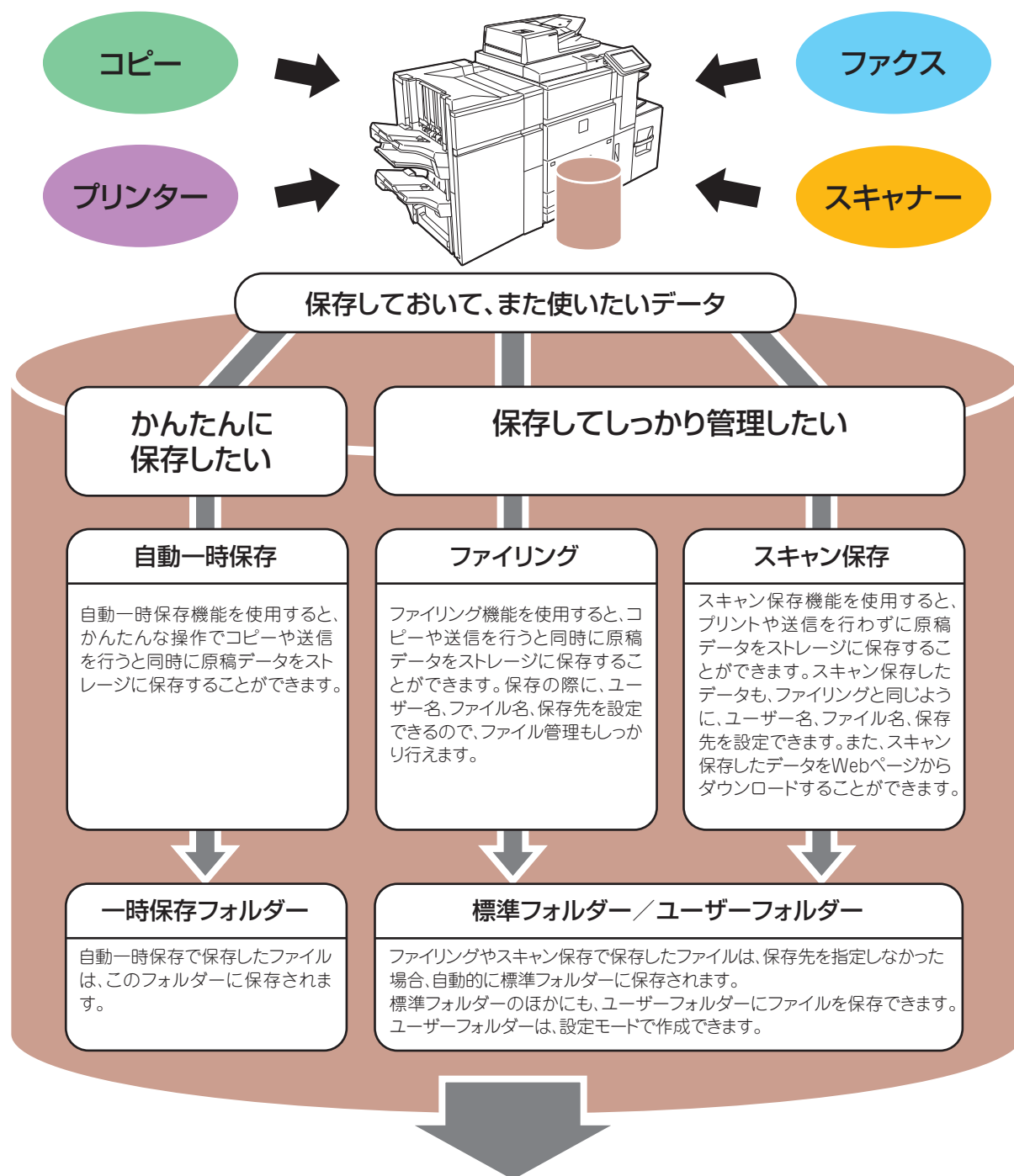
ドキュメントファイリング

ドキュメントファイリングとは、コピーやプリンターなどのジョブを実行するときに原稿やプリントのデータをストレージに保存する機能です。保存したデータはあとからプリントなどの操作をすることができます。
ここでは、ドキュメントファイリングの機能の一部を紹介しています。

- ▶ ドキュメントファイリング機能でできること 56
- ▶ 原稿データの保存だけを行う（スキャン保存） 57
- ▶ 保存したファイルをプリントする 60



ドキュメントファイリング機能でできること



保存したファイルは必要なときにプリントや送信をすることができます。
プリンタードライバーを使って保存したファイルは送信できません。
〔「RIP形式」を「RGB」に変更した場合は送信できます。〕



原稿データの保存だけを行う（スキャン保存）

スキャン保存は、スキャンした原稿のデータを標準フォルダーまたはユーザーフォルダーに保存する機能です。印刷や送信は行いません。

ここでは、原稿を標準フォルダーに保存する操作について説明しています。

ユーザーフォルダーに保存する場合は、ホーム画面の「ドキュメントファイリング」キーからアクションパネルの「本体ストレージにスキャン保存する」をタップして、保存の設定を行います。詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。

シンプルスキャンで保存する

標準フォルダーまたはマイフォルダー（ユーザー認証時）に保存できます。

1



【ホーム画面】モードアイコンを押す

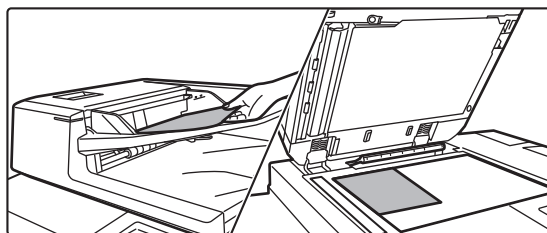
ホーム画面が表示されます。

2



【シンプルスキャン】モードアイコンをタップする

3



原稿をセットする

原稿を原稿自動送り装置の原稿セット台、または原稿台（ガラス面）のどちらかにセットします。

▶ [原稿のセットのしかた（16ページ）](#)



4



【本体/デバイス保存】キーをタップする



5



[本体に保存]キーをタップする

6



[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーをタップする

実行前に仕上がりを確認したい場合は、[プレビュー] キーをタップします。

▶ [プレビュー画面 \(15ページ\)](#)

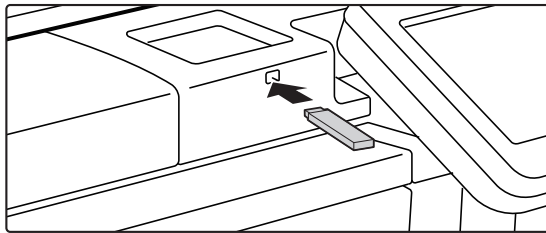
読み込み中止

読み込み
停止



USBメモリーにスキャン保存する

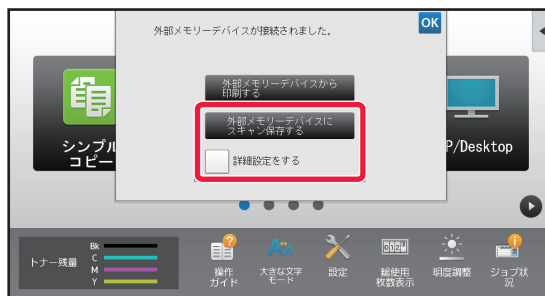
1



USBメモリーを本機に接続する

USBメモリーは32GB以下、フォーマットがFAT32またはNTFS形式をご利用ください。

2



操作を選択する画面が表示されたら、[外部メモリーデバイスにスキャン保存する] をタップする

- [詳細設定をする] チェックボックスをタップして ☒ にすると、ノーマルモードの画面を表示します。
▶ [スキャナーモードについて \(53ページ\)](#)
- 本体/デバイス保存画面が開かれている場合、この画面は表示されません。

3



[カラースタート]キーまたは[白黒スタート]キーをタップする

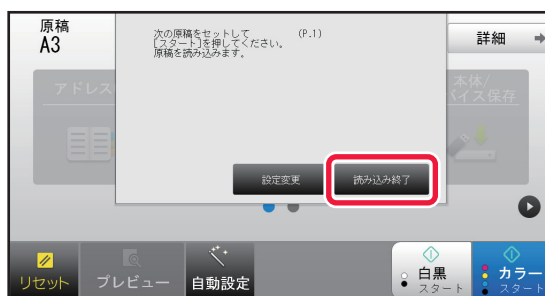
実行前に仕上がりを確認したい場合は、[プレビュー] キーをタップします。

▶ [プレビュー画面 \(15ページ\)](#)

読み込み中止

読み込み
停止

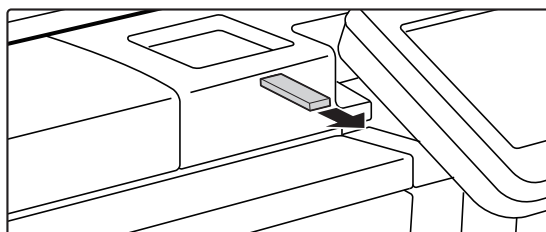
4



すべての原稿の読み込みが終了したら [読み込み終了] キーをタップする

原稿自動送り装置で原稿を読み込む場合、この画面は表示されません。

5



[データ書き込みが完了しました。]のメッセージを確認し、USBメモリーを本機から抜き取る





保存したファイルをプリントする

ドキュメントファイリング機能で保存したファイル呼び出してプリントや送信をすることができます。

USBメモリーや共有フォルダーに保存されたデータをプリントすることもできます。

ここでは、標準フォルダーに保存しておいた「Copy_20201010_112030」というデータ呼び出してプリントする操作を説明しています。

1



【ホーム画面】 キーを押す

ホーム画面が表示されます。

2



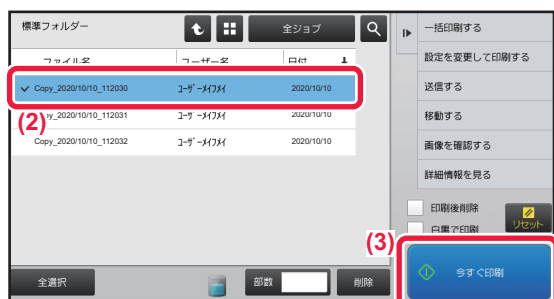
【ドキュメントファイリング】モードアイコンをタップする

3



ファイルを選択してプリントする

(1) 【標準フォルダー】キーをタップする



(2) プリントするデータをタップする

ここでは「Copy_20201010_112030」キーをタップしています。

アクションパネルの「画像を確認する」をタップするとデータのプレビュー画像が表示されます。

印刷後にデータを削除したいときは、アクションパネルの「印刷後データを削除」をタップしてにします。

(3) 【今すぐ印刷】キーをタップする



オフライン仕上げ

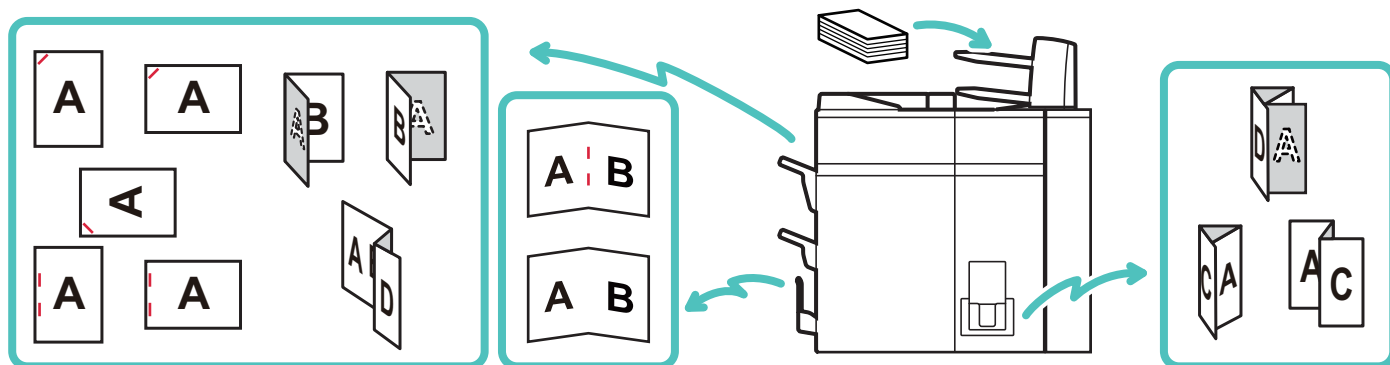
オフライン仕上げ機能を使うための基本的な操作方法を説明しています。

▶ オフライン仕上げ機能について	62
▶ オフライン仕上げのしかた	62



オフライン仕上げ機能について

オフライン仕上げモードでは、コピーやプリント済みの用紙に仕上げを行うことができます。インサーターを装着することによって、オフライン仕上げモードを選択できるようになります。さらに、フィニッシャー（大容量）、サドルフィニッシャー（大容量）、パンチユニット、紙折リユニットを装着すると、ステープルやパンチ、紙折りなどの仕上げを行うことができます。



オフライン仕上げのしかた

オフライン仕上げの基本的な操作を説明します。

1



[ホーム画面]キーを押す

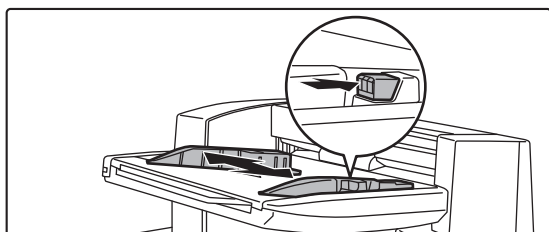
ホーム画面が表示されます。

2



[オフライン仕上げ]モードアイコンを
タップする

3



セットする用紙のサイズにインサーター
のガイドを合わせる

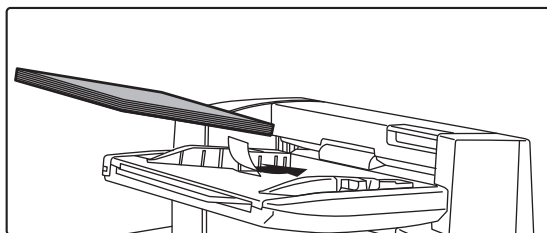
ガイドの固定レバーをつまみながら調整します。
調整が終了したら、固定レバーを離します。



A4Rよりも大きい用紙をセットするときは、補助トレイをいっぱいまで引き出してください。確実に引き出されていないと、用紙サイズが正しく検知されません。



4



上トレイまたは下トレイに、仕上げを行う用紙をセットする

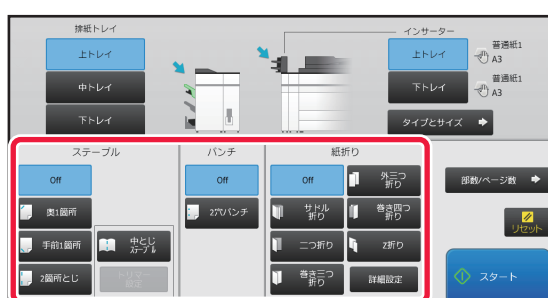
オフライン仕上げの機能によって、セットする用紙の向きが異なります。

▶ [用紙のセット方向について \(64ページ\)](#)



- ・上トレイ、下トレイには、最大200枚の用紙をセットできます。
- ・用紙はガイドに沿って突き当たるところまで確実に挿入してください。
- ・ガイドの幅と用紙の幅が同じでない場合は、紙づまり、斜め送り、シワ寄りの原因になります。ガイドの幅を調整してください。

5



仕上げ方法を選択し、必要に応じて、給紙先または排紙先を変更する

6

[スタート]キーをタップして、オフライン仕上げを開始する

オフライン仕上げモードの基本画面

選択した給紙トレイ、排紙先トレイが表示されます。

仕上げされた用紙の排紙先トレイを選択します。

用紙の束をステープルすることができます。ステープル位置を選択します。

用紙の中央部にステープルを行い、中折りします。
また、中折りしたときにはみ出した部分を裁断します。

用紙にパンチ穴を開けることができます。

紙折りすることができます。
紙折りの種類を選択します。

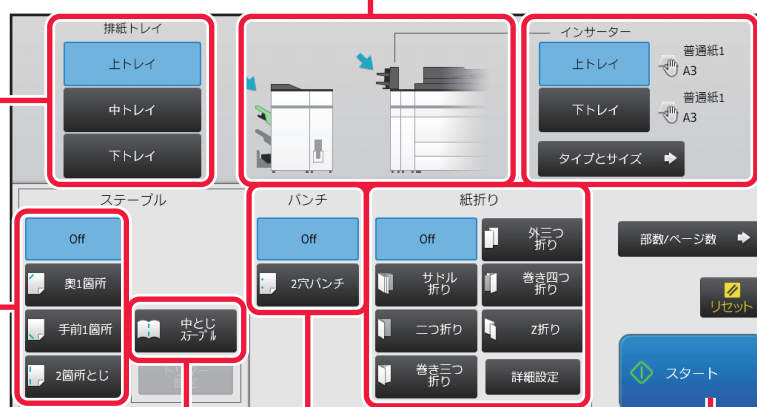
仕上げを行う給紙トレイを選択します。

[タイプとサイズ] キーをタップして用紙種類と用紙サイズを設定します。

仕上げ部数と1部の用紙枚数を設定します。

すべての設定をリセットします。

仕上げを開始します。





用紙のセット方向について

ステープル、パンチまたは紙折り機能を使用する場合に、目的の位置にステープルまたはパンチ穴をあけるためには、次の位置関係になるように用紙をセットしてください。

ステープル

- ステープル機能を使用するには、フィニッシャー（大容量）またはサドルフィニッシャー（大容量）の装着が必要です。
- 中としステープルを使用するには、サドルフィニッシャー（大容量）の装着が必要です。

タッチパネルのキー	用紙セット方向	仕上げ結果
奥1箇所		
手前1箇所		
2箇所とし		
中としステープル		

パンチ

パンチを使用するには、パンチユニットの装着が必要です。

タッチパネルのキー	用紙セット方向	仕上げ結果
2穴パンチ		

紙折り

- サドル折り以外の紙折り機能を使用するには、紙折りユニットの装着が必要です。
- サドル折りを使用するには、サドルフィニッシャー（大容量）の装着が必要です。

タッチパネルのキー	用紙セット方向	仕上げ結果
サドル折り		
二つ折り		
巻き三つ折り		
外三つ折り		
巻き四つ折り		
Z折り		



設定モード

本機をより使いやすくするためのさまざまな設定を行うことができる設定モードについて、その一部をかんたんに紹介しています。
設定モードについて、さらに詳しいことが知りたいときはユーザーズマニュアルの「システム設定」を参照してください。

▶ 設定モードについて.....	66
------------------	----



設定モードについて

日付・時刻設定、ファクスやスキャナーの宛先登録やドキュメントファイリングフォルダーの登録のような本機に関するさまざまな設定は設定モード画面で行うことができます。
ここでは、設定モード画面の表示のしかたと設定項目についてかんたんに説明しています。

設定モードを表示させる

1



【ホーム画面】 キーを押す

ホーム画面が表示されます。

2



【設定】キーをタップする

設定モード画面が表示されます。



メニュータブ (a) と設定メニュー (b) から、設定したい項目をタップします。
設定モードを終了するときは、[閉じる]キーをタップします。

▶ [管理者ログインでの設定モードについて \(68ページ\)](#)



設定モードでできること

設定モードでは次の内容を設定できます。

本機のタッチパネルからの表示、またはコンピューターのWebブラウザからの表示により、表示されない項目があります。また本機の仕様や周辺装置の装着状態によっても表示されない項目があります。

設定項目	設定の内容	
ステータス	給紙トレイ情報やデバイスの構成などの情報を表示します。	
アドレス帳	アドレス帳を編集します。	
ファイル操作	ドキュメントファイリング機能を使ったファイル操作を行います。	
ユーザー管理	ユーザー認証設定時に使用するユーザーを、登録、修正、削除します。	
システム設定	日付の設定や給紙トレイの設定など、本機の主な設定を行います。次の内容が設定できます。	
	ホーム画面設定	本機のホーム画面の背景変更など、ホーム画面に関する設定を行います。
	コピー設定	コピーに関する設定を行います。
	プリンター設定	プリンターに関する設定を行います。
	ファクス/イメージ送信設定	ファクスやE-mail送信などのイメージ送信に関する設定を行います。
	ドキュメントファイリング設定	ドキュメントファイリングに関する設定を行います。
	Sharp OSA設定	Sharp OSAに関する設定を行います。
	認証設定	ユーザー認証の方式を設定します。またICカードの設定も行います。
	共通設定	日付の設定や給紙トレイの設定など、本機に関する設定を行います。
	ネットワーク設定	ネットワークのインターフェース設定やNAS設定など、ネットワークに関する設定をします。
	セキュリティ設定	管理者パスワードの変更や認証などの本機のセキュリティに関する設定を行います。
	省エネルギー設定	電力消費を抑えるEco機能を設定します。
	システム管理	本機のバックアップやジョブログの設定などを行います。
	画質調整	本機の画質全般に関する調整を行います。
	初期設置設定	本機を設置するときに最初に設定する項目をまとめています。





管理者ログインでの設定モードについて

本機に管理者でログインすると、ゲストやユーザーより詳細に本機を設定できるようになります。
また、ユーザー認証が有効になっている場合は、管理者パスワードを入力しなくても、ログインしているユーザーの権限により設定が許可されることがあります。設定状態については、本機の管理者に問い合わせてください。

管理者ログインが必要な設定モードの項目を選択すると、管理者ログイン画面が表示されます。
管理者ログインでの設定モードの項目については、ユーザーズマニュアル「設定モード」を参照してください。

お願い

- OS（オペレーティングシステム）に関する事からについては、必要に応じてOSの説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- 本書では、Windows環境での画面の説明や操作手順は、Windows® 10でお使いになる場合を主体に説明しています。OS（オペレーティングシステム）のバージョンやアプリケーションソフトにより表示される画面が異なることがあります。
- 本書では、Mac OS環境での画面の説明や操作手順は、macOS 10.12でお使いになる場合を主体に説明しています。OS（オペレーティングシステム）のバージョンやアプリケーションソフトにより表示される画面が異なることがあります。
- 本書でMX-xxxxと記載しているところは、“xxxx”にお使いのモデル名を入れてお読みください。
- 本書では、日本郵便株式会社のはがきを郵便はがきと記載しています。
- 本書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、スタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはスタートガイドに記載のシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品および別売品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- 本書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

本文中で説明しているイラスト、操作パネル、タッチパネルについて

周辺装置は基本的に別売品ですが、お買いあげいただいた本機の種類によっては、一部標準装備されているものもあります。この取扱説明書では、MX-8081に手差しトレイ、大容量給紙トレイ、サドルフィニッシャー、パンチユニット、およびカール補正ユニットを装着した状態で説明しています。本機の機能や使いかたを説明するために、上記と異なる周辺装置の装着状態で説明している場合があります。

本書に記載している操作画面、表示されるメッセージ、キー名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

シャープ株式会社